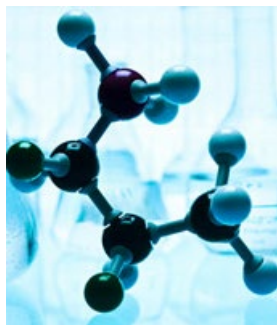




2024年度

ESGレポート

目次



会社概要 4

主要なイベント 8

総合ガバナンス 9

コーポレートガバナンス

ESGガバナンス

企業倫理

リスク管理

グリーン成長戦略の推進 15

環境管理

リソース管理

排出管理

気候変動対策

高品質な製品作りへの取り組み 27

研究開発管理

品質管理

顧客権利の保護

持続可能なサプライチェーン

社会貢献 45

企業と社員がともに成長する協力関係

労働安全衛生

研修と人材育成

付録

ESG データシート

SASB 指標

GRI 指標

代表メッセージ

私は20年以上にわたり、生物医学研究に携わってきました。「革新的なバイオテクノロジーを通じて、人々の健康と生活の質を向上すること」を目指したいとの思いから、私は、GNIの前身の1社である上海ジェノミクスを2001年に創業しました。これが、現在のGNIの理念である「患者の皆様へ新たな希望を」に繋がっています。このビジョンの下、その後、会社は紆余曲折を経ながらも、2007年に東京証券株式市場に上場を果たし、特発性肺線維症を適用症とするアイスーリユイの開発から販売に結実し、中国で圧倒的なシェアを獲得することに成功しました。現在では、製薬事業、バイオテクノロジー事業、メドテック事業の3事業を擁し、中国、米国、日本、オーストラリアで事業展開をする企業グループに成長しました。

一方、ビジネスを取り巻く環境も変化しております。社会の持続性に対するステークホルダーの関心は益々高まり、企業が社会的責任を果たすことが求められています。ヘルスケアビジネスにおいても、アンメットメディカルニーズに応える革新的な治療法の開発と、デジタル技術等を活用した新たなソリューションへの期待が高まっています。

GNIグループは、「患者の皆さまに新たな希望を」というビジョンのもと、事業を通じて持続可能な未来を築くために全力を尽くしています。拠点を持つ中国、米国、日本におけるそれぞれの地理的優位性を生かし、uSMITE技術をはじめとする独自の研究開発プラットフォームを発展・活用することで、社会の要請に応えていきたいと考えています。

企業としての責任を果たし、社会に貢献するための重要な柱としてESG活動を、GNIグループは位置づけています。

環境(E)

GNIグループ(以下当社グループ)は、医薬品の開発・製造・販売を通じて健康を支える企業として、地球環境の保全も最重要課題の一つと位置づけ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。すべての事業活動において環境負荷の低減に努めるとともに、気候変動への対応、資源の効率的かつ持続可能な活動、生態系の保全を重視した取り組みを推進します。また、これらを実現するため、革新的な技術の導入や社内外のステークホルダーとの協力を積極的に進め、次世代に豊かな自然環境を引き継ぐための貢献を続けてまいります。



たとえば、製薬事業において中国 ISO14001環境マネジメントシステム規格の認証を取得しており、会社から発生する廃棄物処理と有害排出物の削減を目指して、環境保護のための継続的な支出を行っています。

また、創薬事業において「水保全管理規則および規制」を策定しました。このシステムは、水資源の利用率を向上させるだけでなく、各部門および個人の節水責任を明確にし、不要な廃棄物の削減に取り組み、違反を効果的に管理します。節水機器・技術を積極的に推進し、従業員の節水意識教育を強化するとともに、節水効果を正確に評価するための水使用量モニタリングシステムを導入しています。これらの対策は、水コストを効果的に制御するだけでなく、廃水排出量を大幅に削減し、環境保護と水資源の持続可能な利用に積極的に貢献しています。

社会(S)

当社は、社員の多様性とインクルージョンを推進し、公平で安全な労働環境を提供しています。また、地域社会への貢献活動や、医療アクセスの向上を図るための取り組みも積極的に行っています。

新薬を世界中の患者の皆さまにお届けするという使命を実現するために、医薬の事業分野において、高度な技術とユニークな視点で独自の研究を進め、製品を開発・提供するにあたり、公正かつ自由な競争の下、自律的で責任ある行動を通じて、持続可能な社会の形成に向けた取り組みを進めています。世界中でさまざまなビジネスを展開するに当たって、人権の尊重は重要な要素であると考えています。

当社グループでは、多くの女性社員が活躍しており、全社員に占める女性社員の割合も高い水準にあります。

性別を問わず意欲と能力にあふれる人材が活き活きと働くことを応援するため、安心して働きやすい環境づくりに努めています。

品質への取組という面では、たとえば、メドテック事業においては、子会社であるBerkeley Advanced Biomaterials LLCは医療機器産業における品質マネジメントのための国際規格認証(ISO13485:2016認証)を保有し、より安全な生体材料を提供しております。

また、当社グループは2024年8月に経団連に加盟し、ESGの推進を通じてより社会的責任を果たし、創薬・製薬業界及び日本経済の成長に貢献していくことを目指しています。子会社である北京コンチネントは中国NPO(非営利団体)へアイスーリユイ(肺線維症治療薬)を毎年寄贈しております。また2020年2月、新型コロナウイルス流行に伴いマスクと手指消毒液を中国・武漢地域に寄付いたしました。

ガバナンス(G)

当社グループは、透明性の高い経営を実現するため、強固なガバナンス体制を構築しています。企業活動において「企業の社会的責任」(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たすべく、Code of Conductを制定し、関係する法令、社内規程等を遵守するとともに、高い倫理観と社会的良識をもって行動します。

倫理的なビジネス慣行を徹底し、ステークホルダーの皆様との信頼関係を築くことを重視しています。

また、「内部通報に関する規定」により、代表取締役社長の責任のもと、当社及び当社役職員についての法令等に違反する行為等に関する内部通報への適正な対応の仕組みを定めることにより、法令等違反行為の早期発見と是正を図ります。当社グループでは、高い倫理観のもと、法令や社会規範等を遵守するよう、コンプライアンスに関する社内研修を実施しています。コンプライアンスの推進と役職員の意識向上を図っています。

これからも、当社グループはESGの取り組みを深化させ、持続可能な社会の実現に向けて邁進してまいります。皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

取締役・代表執行役社長兼 CEO
イン・ルオ(Ying Luo)



会社概要

株式会社ジエヌアイグループは東京都中央区日本橋本町2丁目2番2号日本橋本町YSビル3階に本社を置き、事業展開地域は日本、米国、中国です。上場取引所は東証グロース市場（2007年8月上場／証券コード：2160）です。

当社グループの主要な事業は製薬、創薬とメドテック（生体材料）の3セグメントであり、製薬事業では、主に化合物の研究開発、製造、販売を行っており、主に中国市場で販売されているアイスリュイおよび臨床試験段階のF351を含んでいます。また、中国においてメドテックセグメントに属する持分法適用会社（株式会社ジエヌアイグループが少数株主であり、持分法により財務連結されている関連会社）を多数保有しております。当社グループは、中国で製造工場を所有し、新薬の探索、臨床開発から販売まで一貫した事業活動を展開しております。



“クラフトマンシップ”は当社グループが長年続いてきた企業文化である。



“患者の皆様に新たな希望を”は企業の基本価値観である。



私たちの使命は“世界各地に命を救う薬を提供する”ことである。

2160.T

東京証券取引所に上場している
グループ統括会社

GYRE.US

製薬子会社Gyre Therapeutics, Inc.が
ナスダックに上場

研究開発領域

疾患領域は線維症/
がん/整形外科に集中

事業拠点

主な事業展開地域は中国/米国/日本

260億円

(USD 184.9mn)
2023年度のグループ収益

+49.3%

(前年度比売上高成長率(2022年度比))

131億円

(USD 93.2mn)
2023年度グループ営業利益

+851.3%

2022年度営業利益の対前年増益率

確かな収益成長実績

全てのセグメントで安定した収益能力

強固なキャッシュポジションに基づく
持続可能なキャッシュフロー

私たちについて

戦略的な核となる事業の三本柱

当社グループは、製薬、創薬、メドテック（生体材料）の3つの事業を統合したグローバルバイオ医薬品企業として位置付けられています。



製薬

抗線維症および炎症プラットフォーム

商業化/開発後期

- アイスーリュイは**中国市場をリードする特発性肺線維症治療薬** (IPF)です。
- 開発後期段階で概念実証されている抗線維症薬 (F351) は肝線維症において**アンメット・メディカル・ニーズを満たす**ことが期待されています。
- 商品化の成功**こそが将来の新商品発表の基礎となります。

創薬

標的たんぱく質分解 技術基盤

革新的新薬の発見

- 独自の標的タンパク質分解プラットフォーム (uSMITE™) は新規 E3 リガンドを特徴としています。
- トータルで19 億ドルの可能性**があるアステラス製薬との戦略的提携をしており、契約一時金として **3,500 万ドル**を受け取っています。
- 資金が豊富で、設立以来、著名な投資家 (Sequoia, az-cicc ファンド、Hongshan、Highland、Bafang を含む) から**1億ドル以上**の投資がありました。

メドテック

生体材料

利益を伴う高い成長

- 高い参入障壁がある整形生物事業で**安定的なキャッシュフロー**を創出しています。
- 既存の機能や範囲を拡張したり、既存のビジネスに加え買収することにより複数の成長も梃を活用しています。
- Osdermaメディカル社**と協力して**医療美容**の市場を開拓していきます。

私たちについて

柔軟性、リスク管理、早期の商品化、コスト効率のための
グループ一体化を実現

経験豊富な現地チームが主導する多国籍人材による運営



- **アメリカバイオテクノロジー研究開発センター**
- メッドテック製造現場
- メッドテックセールス&マーケティングセンター



- **中国開発センター**
- 製造工場
- 医薬品の販売及びマーケティングセンター



- **本社**
- 戦略的な事業開発センター
- 東証(TSE)*グロース市場に上場(2160)

* TSE (Tokyo Stock Exchange) は東京証券取引所の略です。



研究・開発

- 線維症、がんや痛み、整形外科領域、美容医療におけるアンメット・メディカル・ニーズに対応する独自の技術基盤を持つ。
- 中国において費用対効果が高く効率的な前臨床研究と初期臨床開発による迅速な概念実証を推進する。
- 世界市場拡大に向けたグローバルな臨床開発を展開する。

管理

- (F351)ヒドロニドンが中国でB型肝炎に伴う肝線維症に対する画期的治療薬の指定を取得している。
- 米国では複数の臨床試験が開始されており、FDAへのIND申請が進行中である。
- 米国組織バンク協会 (AATB) によって認定された認可された組織バンクがある。

商業化

- 中国、米国、日本および世界の急成長するヘルスケア市場への市場アクセスが可能である。
- アイスーリュイの初の事業化の成功により効率的な医薬品営業チームを構築している。
- 堅実なキャッシュフロー生成のための実証済みの生体材料流通ネットワークを持つ。

取締役会の役割及び構成

取締役会の構成：

取締役会の下に「指名委員会」「報酬委員会」「監査委員会」の3つの委員会を設置しています。各委員会は少なくとも3名で構成され、その過半数は社外取締役です。執行役は監査委員会を担当できません。

取締役会の委員会

主な責任

指名委員会	指名委員会は、株主総会に提出する取締役の選任、解任に関する事項を決定し、取締役会及び各専門委員会の構成及び取締役に對する評価を主導する。
報酬委員会	報酬委員会は、取締役、執行役に支払われる報酬またはその他の経済的利益(取締役、執行役が社員としての役割がある場合、社員部分の労働報酬を含む支払うべき報酬など)の金額を決定する。
監査委員会	監査委員会は、取締役、執行役の責任履行状況を監査し、監査報告を発行し、株主総会に提出する会計監査役の選任、解任に関する事項を決定する。

指標	単位	2022	2023	2024
取締役会人数	人	7	8	8
女性取締役人数	人	1	1	1
独立非執行役員人数	人	5	4	4
合計従業員数	人	9	10	15
合計男性従業員数	人	4	4	5
合計女性従業員数	人	5	6	10

報酬制度

基本報酬：基本報酬は、取締役/執行役、正社員/非正規雇用者、職位及び責任、ジョブディスクリプションに基づいて決定されます。

株式報酬型ストックオプション：長期業績に基づく報酬として、株主と会社価値をさらに向上させるために、取締役と執行役の報酬と会社業績と株主価値との関係、及びその職位と責任を明確にし、その権利は実態を考慮して割り当てられます。発行する株式に対する取得権の数は制限されています。ストックオプションの行使条件に関連する指標は、株式を発行するたびに確定された「株式取得権行使条件」によって定められます。

退職金：任期中の功績を表彰するために、取締役に退職金を支払うこともあります。

取締役、執行役などの報酬限度額を定めています。

取締役及び執行役の毎年の報酬総額は、2億円を超えてはなりません。

執行役が取締役を兼任する場合は、取締役報酬のみ支払い、執行役としての報酬を支払いません。

取締役を兼任していない執行役は、執行役としての報酬を支払う必要がある場合は、仕事の内容等を考慮した上で適切な報酬金額を決定します。

当社グループは、経営効率、経営健全性と透明性を高めることが、長期的に企業の価値を向上させ、株主、投資家など利害関係者の共存共栄を実現できると考えています。当社グループは、コポレートガバナンスを強化することはそれを実現する基礎であり、重要な経営課題でもあることを認識しています。

主要なイベント



2024 3月

- ・アジア太平洋地域における急成長企業ランキング「High-Growth Companies Asia-Pacific 2024」に選出

2024年4月

- ・Cullgenが、オーストラリアに子会社を設立

2024年5月

- ・ニンテダニブの製造販売権を取得
- ・F230 (PAH) の臨床試験開始承認申請
- ・AI技術研究開発を目的に株式会社オルツと協業開始

2024年6月

- ・Gyreが、マレイン酸アバトロンボパグ錠剤(慢性肝疾患による血小板減少症)の販売承認を取得

2024年8月

- ・経団連に加盟
- ・日本アジア投資株式会社と提携開始
- ・JPX日経小型株指数の構成銘柄に選定

2024年10月

- ・肝線維化治療薬F351の第3相臨床試験終了

2024年11月

- ・Cullgenが、ナスダック市場に上場する計画を発表

2024年12月

- ・北京コンチネントが「優秀革新企業賞」を受賞

総合ガバナンス

- ✓ コーポレートガバナンス
- ✓ ESGガバナンス
- ✓ 企業倫理
- ✓ リスク管理



ESGガバナンスー取締役会の宣言

持続可能な開発は 当社グループの 戦略の中核であり、長期的な成功と成長に繋がっています。

- ・ “患者の皆様へ新たな希望を”
- ・ 東京に上場しているグローバル製薬会社である当社グループは、革新的な医薬品や医療機器の探索、開発と商品化に注力し、世界中の患者様に命を救うソリューションを提供しています。
- ・ 中期的には、バランスの取れた初期から後期開発段階の製品パイプラインを構築し、自立した研究開発とさまざまな地域における複数の収益源を有する収益性の高い多国籍企業を目指しています。
- ・ 長期的には、グローバル中堅製薬会社を目指します。

[戦略]

1. 様々な市場で相乗効果を発揮する戦略に基づくグローバル展開
2. 革新的な技術への投資と先進的なパイプライン候補の開発
3. 商業化を拡大して安定したキャッシュフローを生み出し、アップサイドの価値を最大化

[ビジネスモデル]

グローバル製薬会社として位置付けられており、製薬、創薬、メドテックの3つの統合事業を展開しています。

- － 柔軟性、リスク管理、早期の商品化、コスト効率のためのグループ一体化を実現
- － 経験豊富な現地チームが主導する多国籍の事業運営

[当社グループのハイライト]

1. 経常的にプラスのキャッシュフローを生み出す、収益性の高い自立したビジネスモデル

過去5年間画期的な技術に新たに投資をしながら利益の出る事業運営を果たしてきました。

2. 強固なポートフォリオと後期パイプライン

新薬開発においては、自社開発したアイスーリュイの商品化の実績があり、F351を中心とした複数のイノベーションによって推進し、中国および世界の肝線維症における大きなアンメット・メディカル・ニーズに対応しています。

3. 革新的な技術

独自の新薬探索基盤である (uSMITE™) が次世代の標的タンパク質分解剤 (TPD) の世界的なフットプリントに向けた新規 E3 リガンドを発見に寄与します。

4. グローバルな拠点

中国、日本、米国にバランスよく焦点を当て、将来のグローバル成長と地政学的な緊張を緩和する能力を促進できるグローバルなインフラプラットフォームの利点を完備しています。

5. 経験豊富な独立した経営チーム

経験豊富な起業家科学者であるイン・ルオ博士による効果的なリーダーシップと、プロフェッショナルな経営チームによるサポートがあります。

[基本政策]

当社グループは使命を果たすことを通じて、社会課題の解決に貢献し、企業価値の向上を図り、社会の発展に貢献します。

1. 持続可能な医療の向上への貢献
2. 公正かつ健全な事業運営
3. 公正な情報開示と建設的な対話
4. 安全で快適な職場環境の整備
5. 人権の尊重
6. 環境問題の解決
7. 社会との関わり

[実績]

1. 製薬事業は、アンメットメディカルニーズがある線維性疾患領域の治療法の開発を推進し、さらに多くの患者の生活の質の向上に貢献しています。
2. 子会社の北京コンチネントは、中国の ISO14001 環境マネジメントシステム規格の認証を取得しており、事業により発生する廃棄物処理と有害な排出物を削減するために環境保護に取り組んでいます。
3. メドテック事業は、医療機器業界の国際品質管理規格である ISO 13485:2016の認証を取得し、生体材料のより安全な供給を保証します。
4. 取締役会は、当社グループの行動規範、人権基本方針、内部通報規程等のESG関連規程を決定しました。

[目標と挑戦]

1. 生活の質の改善/向上を支援するために、アンメット・メディカル・ニーズに対応する医薬品パイプラインと医薬品を開発します。
2. 子会社における研究開発及び事業の自立化を図ります。
3. グループガバナンスと従業員エンゲージメントを強化します。

ESGガバナンス

当社は医薬の研究、開発、製造、販売に従事しており、環境、社会とガバナンス(ESG)を企業の発展戦略に統合させ、長期的で持続可能な発展モデルの構築に力を入れています。

A 責任委任

当社のESGガバナンスは、当社グループ取締役会の原則に基づいて構築されています。

取締役会は、ESGイニシアチブ推進のため、ESGマネジメント委員会を設立しました。ESGマネジメント委員会はCEOに報告し、経営委員会と取締役会によって監督されます。ESGマネジメント委員会は、ESG関連のガイドラインと規制を調査し、他の企業の慣行をベンチマークします。これに基づいて、ESG戦略、優先計画、当社グループに適した方針と指標が社内の関連部門や対象分野の専門家と協力して推進し、実行されます。



B 報告手順と頻度

ESGマネジメント委員会は、会社方針、必要に応じて関連するESG事項など、ESGプログラムおよびプロジェクトを定期的に経営委員会および取締役会に報告し、承認を求めます。経営委員会または取締役会が ESG 事項を決定すると、適切なルートを通じて社内および/または社外に発表されます。



C 報告情報の審査と承認

当社の取締役会は、組織の重要なトピックを含む報告された情報を検討し、承認する責任を負います。

情報の検討と承認のプロセスは、対象事項を担当する執行役の報告に基づいています。

経営委員会は、取締役会に報告する前に報告書を検討します。

D 健全な内部統制

当社の取締役会は、組織の持続可能性報告書の完全性と信頼性を高めるために、組織の内部統制の適切性をレビューします。

監査委員会は、内部統制システムの有効性をレビューする責任があります。監査委員会は、監査結果を取締役に報告します。

ステークホルダー

当社は、すべてのステークホルダーとのコミュニケーションと協力を非常に重要視しており、会社の意思決定と行動が、すべての関係者の期待と要求を十分に反映し満たすことができるよう、また、会社のESGパフォーマンスを継続的に改善し、会社の持続可能な開発戦略と行動を促進することができるよう、オープンで透明性の高いコミュニケーション・メカニズムの確立に努めています。



会社従業員

当社は、すべての従業員が絶えず発展し、成長し、成功を収めることができることを望んでおり、誰もが認められ、理解され、思いやりを受け、尊重される価値があると信じています。

当社グループでは各階層の従業員と交流し、彼らの観点とニーズを理解すると同時に、その心身の健康の維持・向上のためサポートするプロジェクトにも投資しています。



株主及び投資家

当社の株主、ホルダーと市場アナリストは、当社グループの運営および会社の短期、中期、長期の収益に対して、重要な利害関係を持っています。当社グループは、企業のWebサイトに掲載するESG関連コンテンツを含み、継続的なコミュニケーションを通じて、ESG、税、売上成長などの関連問題について、投資家とコミュニケーションを図っています。



政府と監督管理部門

当社は、所在国の関連法律に準拠し、法に基づいて経営活動を展開し、政府部門との双方向の対話と監督管理部門の一対一のコミュニケーションを通じて、監督管理部門の要求に積極的に応え、企業としての社会的責任を遂行しています。



企業倫理

当社は、高い企業倫理原則を守り、誠実さを基礎とし、公平競争を核心とする企業文化の構築に取り組んでおり、現地の法律や規制に厳密に準拠し、会社の実情に合わせた包括的な企業行動規範を制定しました。

当社の取締役会および従業員は、例外なく当社の企業行動、行動規範、倫理原則および法律を遵守しなければなりません。

当社には「企業行動規範」と「内部通報制度」があり、法的遵守を確保するために内部通報制度の外部窓口を提供する弁護士と契約を締結しました。

また場所、活動、業界基準を考慮した汚職リスク評価を実施しております。監査委員会は子会社の汚職リスク評価を検討し、取締役会に報告します。当社グループは、全従業員に汚職防止研修を毎年実施しています。



反競争的行為に対する罰金件数: 0

反競争的行為に対する罰金金額: 0

賄賂と腐敗行為に対する罰金件数: 0

賄賂と腐敗行為に対する罰金金額: 0

リスク管理

法務およびコンプライアンスの管理



人権基本方針



行動規範



内部統制の基本方針



内部通報規制

当社は、法令・コンプライアンス体制を確立し、「行動規範」、「ハラスメント防止規程」、「内部通報規程」を制定しています。

当社のすべての従業員に、コンプライアンス、ハラスメント、インサイダー取引、独占禁止法、知的財産、IT セキュリティに関する従業員トレーニングを年に1回必ず提供しています。

税務管理

当社の税務戦略原則：

当社の税務戦略は、経済的実体と経済的価値が生じる場所で納税するという原則に基づいています。タックスヘイブンやその他の同様の機関を利用した人為的な取り決めには関与していません。

当社の財務および会計部門は、グループの財務および会計方針に従って、グループが事業を展開している国の現地税法を遵守するとともに、その法律の意図と精神を尊重するよう努めています。

また、親会社であるジーエヌアイグループでは財務経理部が税に関する事項を特定し対応しています。

当社はリスク管理に努めています。財務部門および会計部門の責任者は、これらの状況を最高財務責任者に報告します。最高財務責任者は執行委員会および取締役会に報告します。1年に1度レビューを受けます。

当社は、定期的な監査や税務当局との積極的なコミュニケーションなど、税法の条文と精神の遵守を確保するための合理的な措置を講じています。

税務方針とビジネス戦略を連携させて、税務計画が企業のビジネス目標を確実にサポートできるようにします。税務戦略を策定する際には、税務方針の経済的および社会的影響を考慮し、企業の持続可能な取り組みと整合させています。

税金のガバナンスと管理の枠組み：

当社には「行動規範」と「内部通報規則」があります。

弁護士との間で、個人が商慣行や税務上の誠実性について懸念を表明できる内部通報制度の外部窓口を設置する契約を締結しました。当社グループは定期的に外部監査を実施しており、監査報告書へのリンクは以下になります。

(<https://www.gnipharma.com/ir/yuho/>)

税金問題に関連するホルダーの関与と管理：

当社は、コンプライアンス協定に積極的に参加し、すべての重要な取引について積極的なリアルタイムの監査と税務管理を追求します。

グリーン成長戦略の推進

- ✓ 環境管理
- ✓ リソース管理
- ✓ 排出管理
- ✓ 気候変動対策





当社は、各子会社に対し、全面的環境マネジメントシステムを通じて従業員の健康と周辺環境を保護し、環境保護関連事故の発生を防止するための取り組みを行うことを呼びかけています。

当社の子会社であるCullgenは、「環境ガバナンス管理システム」を策定し、有害物質の管理から排ガス・排水・廃棄物処理に至るまで、環境保護に関する各指標が関連基準を満たす、あるいはそれを上回るよう徹底しています。さらに、環境保護に関する緊急対応計画を策定・実施し、定期的な環境事故対応訓練を行うことで、万が一の環境汚染発生時にも迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。厳格な環境管理措置の実施により、産業廃棄物の排出を大幅に削減し、すべての排出基準が法令で定められた環境基準を満たす、または上回る水準を維持しています。環境保護への取り組みは、各事業単位の経済責任評価の対象に組み込まれており、定期的な業績評価を通じて、各部門が環境保護活動を継続的に改善し、環境管理全体の向上を効果的に推進できるよう取り組んでいます。各部門が環境保護活動を持続的に改善し、環境管理レベルの向上を効果的に推進するために、環境保護活動における損益の責任も各部門の評価範囲に組み入れ、定期的に業績評価を行っています。

環境マネジメントシステム

一連の管理措置と実践活動を通じて、当社グループの子会社であるCullgenは自らの環境管理のパフォーマンスを向上させただけでなく、社会の持続可能な発展にも積極的に貢献しました。

日常における運用

雨排出システムへの油酸性液体、アルカリ性液体又は猛毒廃棄液体、産業廃棄物の排出、工場内有害化学物質用容器の洗浄を禁止しています。

トレーニングと教育

各従業員の環境意識と操作スキルを高め、その職場で環境保護措置を正しく実施できるように、従業員に対して環境保護に関する業務訓練を定期的に行っています。

環境改善

各従業員の環境意識と操作スキルを高め、その職場で環境保護措置を正しく実施できるように、従業員に対して環境保護技術業務訓練を定期的に行っています。

プロジェクトの審査と承認

新築、改築、拡張プロジェクトはすべて、環境面での影響評価を受け、関連部門の承認を取得し、汚染が低く、効率の高いクリーン生産プロセスを採用しなければなりません。

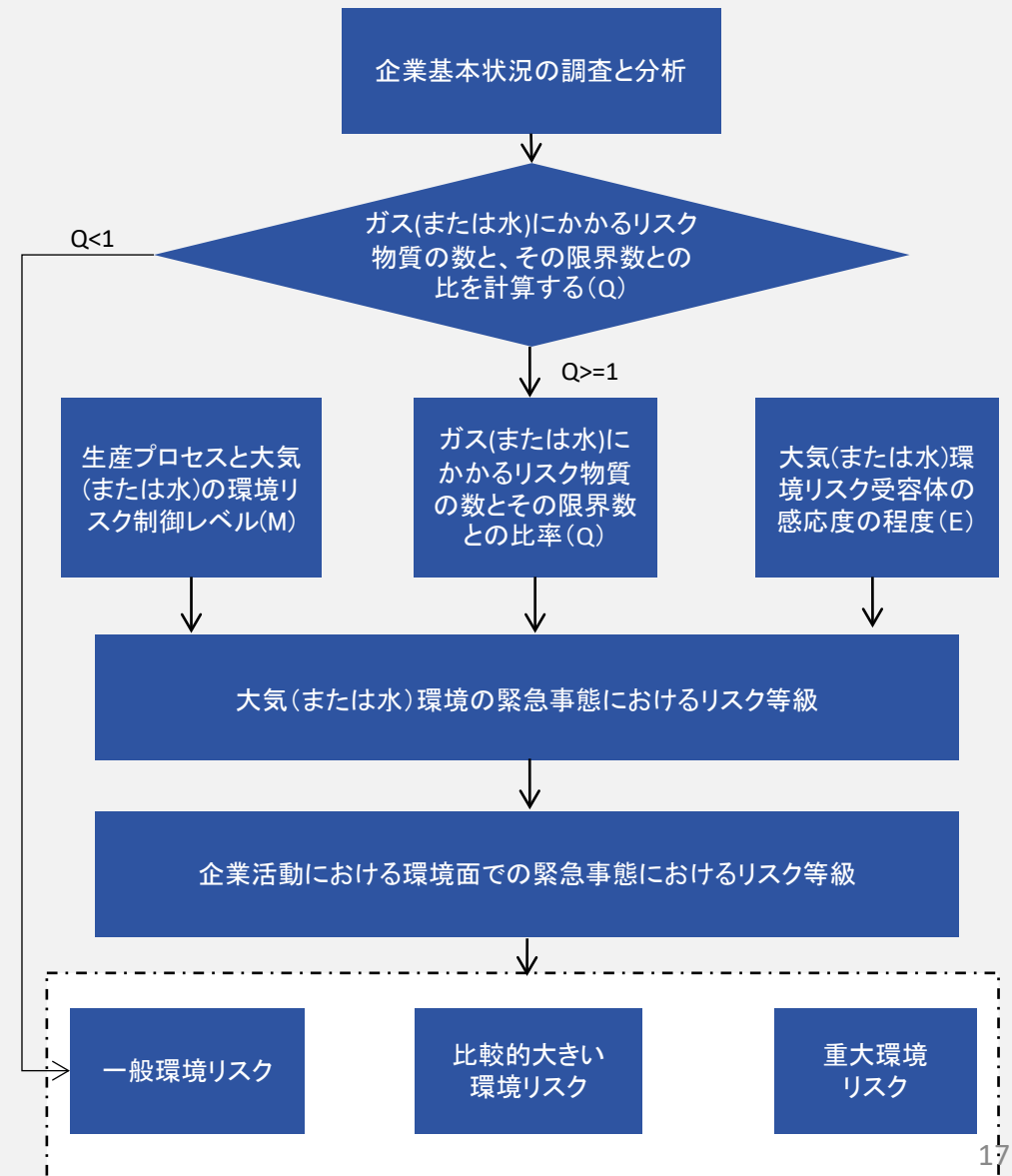




環境リスク評価

当社は、科学的、体系的な環境リスク評価を通じて、潜在的な環境リスクを効果的に識別し、制御し、企業の安全な製造と環境保護を保障することができると考えています。そのため、各子会社に環境リスク評価を重視するよう呼びかけています。

当社の子会社であるGyreは、健全な環境リスク評価管理システムを構築することによって、データの収集と分析、リスク識別と評価からリスク制御までの全工程の管理を実現しました。



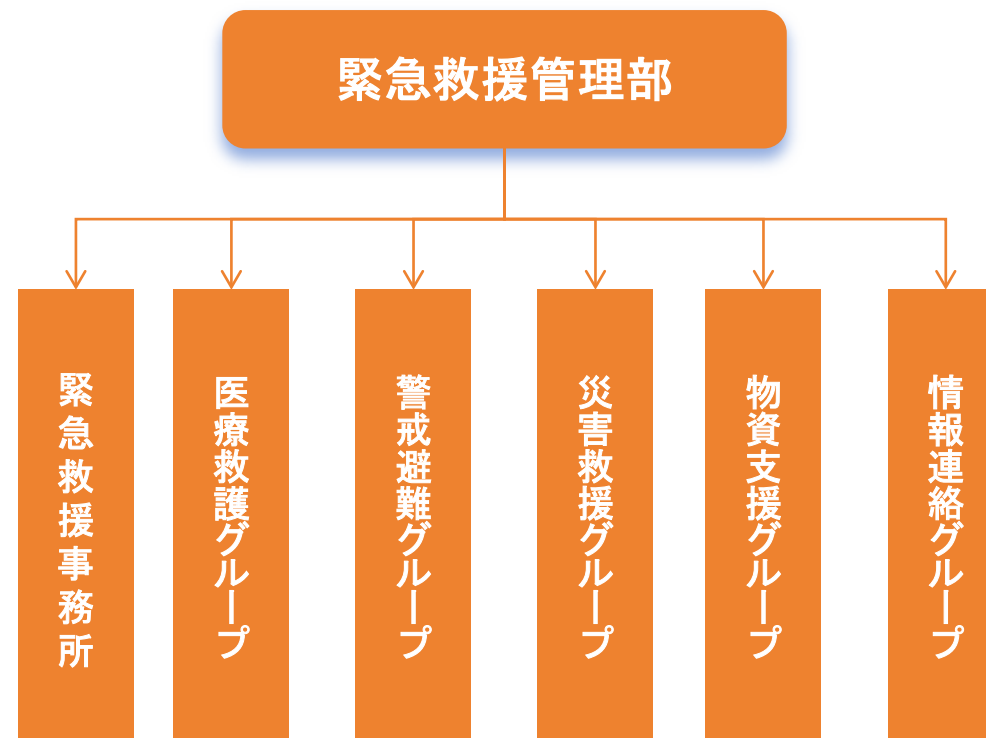
環境面での緊急事態の管理

当社グループでは環境面での緊急事態の管理を重視し、各子会社に対して一連の措置を取って環境面での緊急事態の管理を確実にできるよう呼びかけています。

当社グループの子会社であるCullgenは、しっかりと環境面での緊急事態を管理する体制と効率的な緊急管理システムを構築することにより、会社の運営と環境の安全を効果的に保障しています。明確な組織体制と責任分担を通じて、環境面での緊急事故の発生時に迅速かつ効果的に対応でき、環境と人員への影響を最小限にすることを確保しています。

環境面での緊急管理体制は、緊急救援指揮部と緊急救援作業グループから構成され、事故のタイプと緊急対策活動の必要に応じて、緊急処置グループ、警戒避難グループ、医療救護グループ、後方勤務支援グループ、通信確保グループ、緊急監視グループを含む緊急救援グループを設置しています。

健全な緊急救援組織体制の設置と明確な責任分担を通じて、突発環境事故における緊急対応能力を効果的に向上させ、いかなる突発状況においても環境緊急事故に対して迅速かつ効果的に対応できることを保証することができます。



環境緊急事態管理

環境緊急事態管理の実行

当社グループは、「予防を主とし、緊急対応を補助とする」という理念を守り、各子会社に対して健全な環境リスク管理と緊急対応メカニズムを構築し、環境リスク事故の発生と人員と環境への影響を最大限に減らすよう呼びかけています。

当社グループの子会社であるCullgenは、緊急事態時の計画と対応メカニズム、緊急管理体制とグループ、緊急対応能力の向上、環境事態における緊急管理と運営などをカバーした明確な環境面での緊急管理システムを構築しています。

緊急時の計画と対応メカニズム

社内で緊急時の計画システムを構築しており、社外の計画と効果的に連携することで社内外の活動を連動させ、協同作戦の緊急対応メカニズムを策定しました。この計画は突発環境事故を3つのレベルに分け、各レベルに対して区別した対応措置を制定しています。また、「人命救助第一、早期処置、迅速対応」の原則に従い、緊急時の作業と職場の責任を密接に連携されています。

緊急管理体制とチーム

緊急指揮センター及び複数の緊急作業チーム(緊急処置チーム、警戒避難チームなど)を含む専門の緊急管理体制を設立しており、突発環境事故が発生した時に迅速かつ正確に行動できます。

緊急対応能力の向上

明確な緊急救援組織体制と明確な責任分担を通じて、突発環境事故における緊急対応能力を効果的に向上させました。

環境事件緊急管理の運営

効率的な対応メカニズムの構築、状況報告と指揮調整プロセスの明確化、リアルタイムなモニタリングと全面的な事故処理措置の実施、緊急時対応の適時終了と適切な後処理、および調査評価の深化と環境の生態系の回復を再構築します。



環境事故における緊急管理

緊急対応関連の訓練と演習

環境マネジメントシステムの構築と最適化において、高い責任感と使命感を持って従業員の健康と周辺環境の調和的共生を保障し、環境保護リスク事故の発生を効果的に回避することに力を入れています。当社は科学的、体系的な環境管理メカニズムの構築を通じて、各子会社が全面的で効果的な労働安全衛生管理措置をとるよう積極的に提唱し、全力で推進しています。

当社グループの製薬事業の子会社であるGyreは、緊急事態の計画の策定、訓練、演習、評価と改善を含む包括的な緊急管理システムを構築しました。組織的な研修や実践演習を通じて、全員の緊急対応能力を向上させ、緊急救援指揮部を設置して協働・協力体制を確保し、突発的な事故を迅速かつ効果的に対応できるように計画の実用性を重視しています。以下はGyre会社の緊急対応訓練と演習管理事例です。

01

緊急対応策の訓練

定期訓練: 緊急対応指揮者と救援人員の緊急対応管理レベルと専門技能を高めるために、毎年少なくとも1回の緊急対応訓練を組織しています。

全員参加: 各階層の計画に対する熟練度を強化し、全員の緊急対応意識と災害防止、危険回避、自己救助、相互救助能力を高めます。

02

緊急計画の演習

Gyreは、机上演習や実践的な訓練など、さまざまな形式の緊急対応訓練を実施しています。これにより、緊急対応チームの訓練を行い、迅速な対応能力を検証し、職務責任を遂行するとともに、各部門間の連携を強化します。また、緊急指揮メカニズム、意思決定、調整、処理手順に習熟し、必要なリソースを特定し、緊急対応の準備状況を評価するとともに、計画の実効性を検証します。さらに、訓練の結果や明らかになった課題をもとに計画を改善し、緊急対応計画の実用性と運用性を向上させます。

管理実践

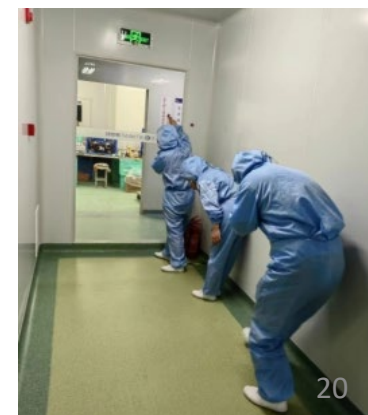
訓練の実行: 緊急対応救援管理部は演習の実行を担当し、毎年少なくとも1回全員演習を組織します。

訓練の計画管理: 安全環境保護部は毎年初めに訓練計画を制定し、安全委員会の許可を得てから実行し、訓練状況を記録し、保存します。

定期的な緊急対応訓練と実戦訓練を通じて、全員の緊急対応意識と対応能力を効果的に向上させることができました。

Gyreは訓練を通じて緊急対応計画を継続的に見直し・改善し、実際の運用における実効性と有効性を確保しています。

これにより、突発事故における会社の緊急対応能力を強化すると同時に、従業員の安全感と会社全体の運営安定性を向上させました。





エネルギー管理

当社の製薬事業の子会社であるGyreは、エネルギー消費分析、省エネ措置の計画からエネルギー業績評価までの工程をカバーしたエネルギー管理システムを構築しており、企業のグリーン、低炭素、持続可能な方向への発展を推進するために力を入れています。

Gyreは包括的なエネルギー管理措置を通じてエネルギー消費を効果的に低減し、エネルギーコストを低減しながら炭素排出を削減し、企業のグリーン、低炭素への発展を推進すると同時に企業の持続可能な発展というブランドイメージを向上させました。

省エネ建物

保温性能の高い材料と省エネ型ドア窓を採用し、建物の設計を最適化し、建物の保温、断熱性能を高め、自然光と自然風を十分に利用し、単位面積当たりのエネルギー消費量が基準要求を満たしていることを確保します。

省エネプロセス

自動化生産ラインを採用して生産面積とエネルギー消費を削減し、加熱が必要な設備及び蒸気配管に対して保温処理を行い、循環冷却水システムを採用し、水消費とエネルギー消費を低減します。

省エネ給排水

Gyreは、池、タンクのオーバーフロー水位警報装置を設置し、冷却塔ベースの吸水計画と周波数変換調速ポンプユニットを採用してエネルギーの浪費を削減しています。また、水節約型衛生器具と緑化用噴霧器の使用を普及し、水の消費を低減しています。

省エネ暖房

空調ユニットの表面冷却器の前後にヒートパイプを設置し、優れた性能を持つスクリーユニットと新型遠心ファンを採用し、空調風管と冷水管の保温措置を最適化し、バランスを調整し、エネルギー消費を低減します。

省エネ電気

優れた省エネ性能を持つ電気設備を採用して電力使用管理を強化し、容量を自動的に補償するスクリーンを用いて電力量の制御を行い、節電措置を普及し、照明方式と制御方式を合理的に選択し、電力消費を低減します。

水資源管理

当社は、水資源は貴重な自然資産であり、その合理的な利用と保護は持続可能な発展にとっては極めて重要であると考えています。当社は、水資源の利用効率を高め、浪費を減らし、環境保護と経済的効果の両方での向上を実現することに力を入れています。

当社の創業事業子会社であるCullgenは、『水節管理規則』を制定し、水の利用効率の向上を重視し、あらゆる形態の浪費を厳しく禁止するとともに、違反に対して適切な管理および処罰を実施します。

水資源管理方針を効果的に実施するため、すべての使用部門および個人が明確に節水の責任を担い、設備管理者は水関連設備の日常点検および保守を担当し、水資源の浪費を防止します。

水の節約管理措置を実施することにより、Cullgenの水使用効率が著しく改善され、水使用コストは効果的に制御され、環境への影響も低減しました。

水節約実践活動により廃水の排出も減らされ、環境汚染の低減に役立ち、地域の水環境の全体的な健全性を促進しました。

Cullgenの
水資源管理実践



設備メンテナンス

水の使用施設を定期的に点検・修理し、水の漏れを適時に処理し、不必要な水資源の損失を減らします。

従業員訓練

訓練を通じて従業員の水節約意識を高め、従業員が日常生活で水の節約を実践することを奨励し、例えば、お風呂に入る、洗濯などの水使用の活動を妥当な範囲で推進しています。

技術面での改善

水の節約設備と技術、例えば蒸気凝縮水回収システムの使用を普及し、科学技術の革新によって効率の高い水資源の利用を推進します。

技術モニタリングとフィードバック

水使用量モニタリングシステムを用いて水の節約効果を定期的に評価し、フィードバックされた内容に基づいて管理措置を調整し、水資源管理目標の実現を確保します。

排出管理-廃水管理

当社は、科学的で合理的な廃水管理は企業の持続可能な発展を実現する重要な一環であると考えています。当社の子会社であるGyreは包括的な廃水管理措置を通じて廃水排出を減らし、水環境を保護し、企業の社会的イメージとブランド価値を高めています。



廃水処理施設

完璧な廃水処理施設を建設し、発生した廃水を集中処理し、廃水の排出が基準要求を満たしていることを確保しています。



雨水・汚水の分流

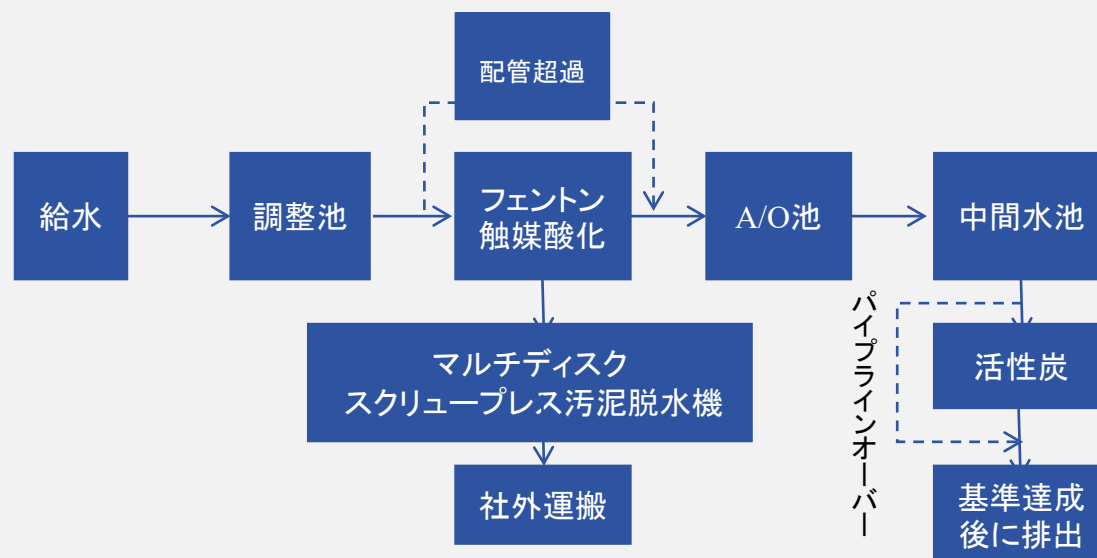
雨季に排出される消防洗浄廃水は、雨水・汚水分流を前提に効果的に処理し、基準要求に準拠して排出しています。



廃水処理の監督管理

点検、洗浄、置換、サンプリングの段階で廃水作業に関わる場合、廃水処理手続きを行う必要があります。この場合、環境保護員は現場で材料の収集、処理施設の整備状況を確認し、作業現場に対して随時抜き取り検査を行い、運用状況を監督しています。

当社グループの子会社であるGyreは、製造工場の廃水として、生活污水、純水調製廃水、洗浄作業場設備の廃水及び品質検査容器の洗浄廃水を管理し、製品の生産工程では廃水が発生しません。上記の廃水は最初に構内污水处理場に排出され、『水汚染物総合排出基準』(DB 11/307-2013)内の「公共污水处理システムに排出される」水汚染物排出制限値要求を満たすまで処理されてから市政污水配管網に排出され、最終的に工場周辺の污水处理場に排出されます。そのうち、污水处理場の設計処理規模は80t/dであり、「触媒酸化+AO+活性炭」の二級生物法を主とした一体化污水处理設備を採用し、その末端には三級処理緊急対応装置として活性炭タンクを接続しています。

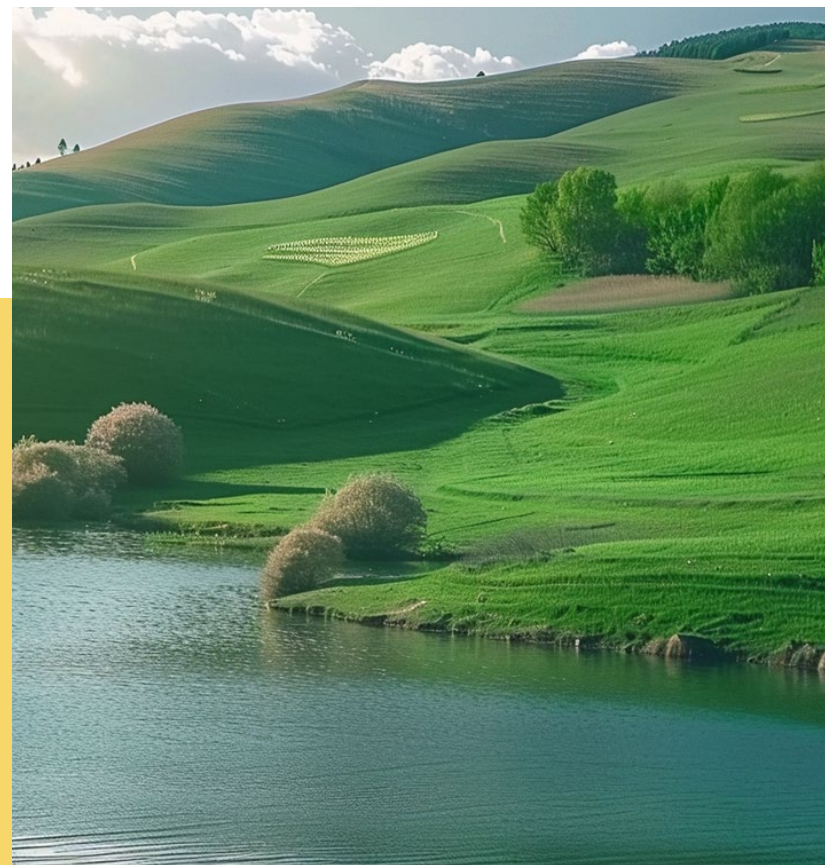


排出管理 – 排気ガス管理

当社は、排気ガス管理を重視し、科学的で合理的な排気ガス管理は企業の持続可能な発展を実現する重要な一環であると考えています。したがって、排気ガスの発生、処理から排出までの全工程の管理をカバーした包括的な排気ガス管理システムを構築するよう各子会社に促しています。

排気ガス管理の実践において、当社の子会社であるCullgenは一連の確実で効果的な措置を取っています。

- 持続可能な発展の鍵として排ガス管理の科学性と合理性を高度に重視しています。
- 排気ガスの発生、処理から排出までの各段階をカバーした包括的な排気ガス管理システムを構築しています。
- 実験領域の密閉、排気ガスは活性炭による吸着処理を経て基準要求に達してから排出する、生物実験は優れたろ過性能を持つ生物学的安全キャビネット内で行う、汚染物の排出を厳格に制御することなど、等様々な措置を取っています。



排出管理 - 廃棄物管理



当社は、「分類管理、安全処置、資源利用」の廃棄物管理理念を守り、全面的な廃棄物管理措置を通じて廃棄物の発生を減少し、資源利用率を高めています。当社グループの創業事業の子会社であるCullgenは、廃棄物の発生、分類、貯蔵、処理から処分までの全過程管理をカバーした包括的な廃棄物管理システムを構築しています。

分類管理

廃棄物を分類管理し、廃棄物の性質と危険度に応じて異なる処理措置を取り扱っています。

安全処分


廃棄物の処分時に二次汚染が発生しないように廃棄物を安全に処分します。

資源利用

リサイクル可能な廃棄物に対して資源化処理を行い、資源の利用率を高めます。

本報告期間中

産業固形廃棄物と危険廃棄物の安全処分率はいずれも**100%**の達成率



気候変動対策

当社は気候変動という世界的な脅威を重視し、積極的に対応し、各子会社が気候変動対策を企業責任の重要な一部と見なすことを積極的に提唱しています。

当社グループの子会社であるCullgenは、世界気候変動が医薬業界に多くのリスクをもたらしていますが、新たなチャンスを生み出していると考えています。企業は気候変動がもたらす挑戦に積極的に直面し、技術革新とコンプライアンス管理を通じてリスクを下げ、チャンスを把握し、持続可能な発展を実現する必要があります。

1.気候変動リスク:

物理的リスク:異常気象によって製造・保管・輸送施設が損傷し、原材料の供給が途絶えたり、製造コストが上昇したりする可能性があります。また、気候変動により疾病の感染パターンが変化し、企業は研究開発の方向性を調整する必要があります。さらに、気候変動は医薬品原材料の品質にも影響を与え、結果として医薬品の安全性や有効性に影響を及ぼす可能性があります。

移行リスク:政府が環境保護や気候変動に関連する規制を強化することで、企業のコンプライアンスコストが増加する可能性があります。また、技術革新の加速に伴い、企業は技術変化に対応するために研究開発投資を増やす必要があります。さらに、消費者の健康や環境への意識が高まり、環境負荷の少ない低炭素医薬品やサービスの需要が増加する中、企業は製品戦略の見直しを求められる可能性があります。

2.気候変動によるチャンス:

資源効率:省エネ・排出削減技術と資源の循環利用は、エネルギー消費と原材料の浪費を低減し、生産効率を高めることができます。

市場機会:新たな市場需要が生まれ、特に気候変動に関連する疾病の研究開発や市場拡大の機会が増加します。また、消費者の健康や環境意識の向上により、環境に優しい医薬品やサービスの市場需要が拡大します。さらに、政府の奨励政策や規制の指針により、企業はコスト削減や競争力強化のチャンスを得ることができます。

3.対応措置:

◦省エネ・排出削減技術と資源リサイクル戦略を導入し、生産効率を高めています。

◦サプライチェーンシステムを最適化し、物流コストを削減し、全体の運営効率を向上させています。

◦特に気候変動関連疾患に対する研究開発と市場開拓など、新興市場の需要を満たすこととなります。

◦グリーン、環境保護の要求に合致する医薬製品とサービスを提供し、ブランド構築を強化します。

◦税収優遇、資金補助など、政府のインセンティブ政策を十分に利用して研究開発と市場開拓のコストを下げ、関連法規の要求に厳密に準拠します。

高品質な製品作りへの 取り組み

- ✓ 研究開発管理
- ✓ 品質管理
- ✓ 顧客権利の保護
- ✓ 持続可能なサプライチェーン





研究開発戦略

当社グループは患者が切実に必要な画期的な医薬品の開発に専念し、一連の研究開発戦略措置を取りました。まず、当社は、最も差し迫った医療ニーズを満たすために、「迅速承認制度」と小型臨床試験プロジェクトを利用して、よりコスト効率の高い方法で医薬品の開発を推進しています。

当社の研究開発戦略は3つの主要な方向に集中しています。

1. 中国での研究開発インフラを利用して、アンメットメディカルニーズに対して新薬を開発する。
2. これらの薬物の適応範囲を拡大し、より多くの患者に恩恵をもたらし、それと同時に強大な医療協力ネットワークを構築し、中国の主要病院やオピニオンリーダーと疾患の治療方法について深くコミュニケーションを行う。
3. 直接販売、アウトソーシングの許可、パートナーシップの構築を通じて、医薬品の世界市場での販売を拡大する。

また、当社は、米ナスダック市場に上場していたCBIO(現GYRE)を通じて米国における線維化関連疾患の治療薬の開発を加速しています。

技術革新と製品開発の面で会社のリーディングポジションを確保するために、当社は国際的視野と卓越した革新能力を備えたハイレベルの研究開発チームの構築に取り組んでいます。

そのために、当社は社内訓練、社外との交流及び国内外トップレベルの研究機関やCROとの長期的な協力をカバーした包括的な人材育成と導入計画を制定しています。

当社は、これらの措置を通じて研究者及び開発に従事する社員の専門知識と革新能力を絶えず向上させ、会社の技術革新と製品研究開発のために人材に学習、キャリアアップの機会を提供すると同時に、コンプライアンス管理においても専門知識とスキル、将来の変化を予見し対応する能力を備えています。

当社は高度な研究開発チームの構築を重要視し、それを企業の革新と発展のコア原動力と見なしています。



研究開発チーム

人材チームの構築

研究開発者 100+

学位以上 >85%

修士 39 人

博士 23 人

当社は、国際的視野と革新能力を持つハイエンド人材を募集し、育成し続けています。社内教育、外部交流などの手段を通じて科学技術者の専門知識と革新能力を絶えず向上させ、研究開発チームの効率的な運営を確保しています。



専門家コンサルタントチーム



当社の子会社であるCullgenは、設立以来、各大学、研究機関、多国籍製薬企業、大手CROと緊密な協力関係を展開しています。薬物メカニズムの研究と設計に力を入れ、効率が高く、毒性の低い低分子化合物を選定しています。例えば、当社は復旦大学とメカニズム研究を展開し、中国薬科大学と薬物設計の研究を行っています。

また、アステラス製薬と19億ドルの戦略的協力を合意し、標的タンパク質分解誘導の開発を支援しています。

上海美迪西生物医薬株式会社と協力してCG001419が中・米GLP規範に適合する(薬物代謝動力学研究と安全性評価を含む)総合的前臨床研究を展開しています。



研究開発への投資

当社は、研究開発への投資と社外協力を重視し、研究開発プロジェクトに対して十分な資金上の支援を提供すると同時に、プロジェクトの進展と市場需要に応じて、経費の割り当てを柔軟に調整し、主要プロジェクトの円滑な推進を確保しています。

また、革新的プロジェクトに強力な資金保障を提供するために、政府補助、ベンチャー投資、銀行ローンなど、様々な資金調達手段を積極的に求めて利用しています。

研究開発への投資



01
アバロンボパグマ
レイン酸塩錠の承認

02
F230のIND申請
が承認

03
ニンテダニブを導入



研究開発協力

当社の創業事業の子会社であるCullgenは、世界的な研究機関、開発業務受託機関(CRO)およびその他の業界専門家と長期的な協力関係を構築しており、資源、技術、知識を共有することにより、相互利益を実現し、医薬科学技術の進歩を推進しています。

協力対象	プロジェクト
上海睿躍と復旦大学	メカニズム研究
上海睿躍と中国薬科学	薬物設計の研究
上海睿躍と安斯泰来	19億ドル相当の戦略的提携に合意
上海睿躍と上海美迪西生物医薬株式会社	CG001419が中・米GLP規範に適合する(薬物代謝動力学研究と安全性評価を含む)総合的前臨床研究
上海市関連の科学研究プロジェクトを引き受け	標的KITタンパク質PROTAC分解剤の前臨床研究
	CG001419はNTRK発病遺伝子を有する汎がん固形がんの治療に用いられる
	CG001419はNTRK発病遺伝子を有する汎がん固形がんの治療に用いる第I相臨床試験

Cullgenは、コンプライアンス管理においても効果的な措置を取り、研究開発プロジェクトの資金が十分に柔軟に割り当てていることを確保し、主要プロジェクトを効果的に推進しています。国内外のトップレベルの科学研究機関及び開発業務受託機関(CRO)との緊密な協力を通じて、複数件の革新プロジェクトの研究開発プロセス及び臨床試験を加速することに成功し、研究開発効率を高めるとともに、プロジェクトの成功率を著しく向上させ、科学研究協力と資源配置における会社の専門性とコンプライアンスを実現しています。

研究開発プロジェクト	研究開発プロジェクトの進捗状況
F230による特発性肺動脈性高血圧症の治療	原薬の研究と試料調製、製剤開発、非臨床研究などを完了した。
F351ヒドロニドン及びその製剤	原薬研究、臨床研究、薬物動態分析、非臨床研究などを行っている。
F647/F351/F573トランスポーター及び代謝酵素の研究	メカニズム研究進行中、2つの論文を発表した。
F573原料及び製剤の薬学的研究	原薬、製剤の研究は完了され、原薬GMPの生産、製剤の臨床用試料の調製及び安定性研究進行中。
F528による慢性閉塞性肺疾患の治療	原薬の薬学的研究と非臨床、臨床試料の調製、製剤薬学的研究、非臨床研究などを行っている。
臨床試験	F351ヒドロニドン第III相、第IIIb相臨床試験: 上海交通大学附属第一人民医院、首都医科大学附属北京地壇病院が主導、国内37の臨床機関が参加。 F647ピルフェニドンじん肺第III相、DM-ILD 第III相、SSc-ILD第III相臨床研究: 中日友好病院、北京協和病院が主導、国内50臨床機関参加、進行中。 F573 第IIa相臨床研究: 吉林大学白求恩第一病院が主導、国内5つの臨床機関が参加、進行中。

臨床試験管理



医療倫理

当社の子会社であるCullgenは、GCP、ICH-GCPの要求、依頼者、倫理委員会と医薬品監督管理部門の要求に厳密に従い、承認された臨床試験計画に基づいて臨床試験を行い、すべての臨床試験データが臨床試験の治験実施計画書等に従った試験記録から得られたもので、正確かつ完全に判読でき、タイムリーなものであることを確保しています。

有害事象と重篤な有害事象の管理

当社は、有害事象(AE)と重篤な有害事象(SAE)に対するグループ全体の管理を強化するために、創薬事業の子会社であるCullgen社を通じて、一連の専門的かつ厳密な取り組みを実施しています。Cullgenは、AEとSAEの定義を明確にするために『臨床試験安全管理Standard Operating Procedure(SOP)』を制定しました。そのうち、AEは被験者に治験薬を投与した後に発現されたすべての有害医学事象、SAEは死に至る、生命を脅かすなどの重篤な事象を指します。治験責任医師はAEとSAEの検査、記録、入力を担当し、NCI-CTCAE v5.0基準に基づいてAEの重大度を評価するとともに、研究治療との因果関係を評価し、記録します。バイアスを避けるために、治験責任医師は非指向性言語を用いてAE/SAE状況を確認し、有害事象の解決または安定状態まで追跡します。SAEおよび特に注目されている有害事象(AESI)については、治験責任医師は24時間以内に依頼者または指定者に報告し、関連法規に基づいて規制当局に報告する必要があります。Cullgenの臨床試験におけるコンプライアンス管理システムはこれらの措置によって共同で構築され、被験者の安全及び関連基準や法規に基づいた臨床試験の進行を確保することができ、当社グループは臨床試験の品質と安全を高度に重視していることがわかります。

重症度の等級付けと因果関係の評価

Cullgenの『臨床試験安全管理SOP』によると、同社は有害事象(AE)と重篤な有害事象(SAE)の重篤度等級と因果関係の評価に対して厳格で体系的な措置を取っていることがわかります。同社はNCI-CTCAE v5.0基準に準拠し、各報告のAEとSAEに対して詳細な重大度の等級付けに関する評価を行い、プロかつ客観的な評価結果を確保しています。この等級付けシステムは、軽度から生命を脅かす、ひいては死に至るまで、有害事象の緊急度と注目度に対して明確な指導を提供しました。また、同社は因果関係評価においても高度な責任感と専門性を示し、治験責任医師は臨床判断に基づき、治験薬概要書(IB)とすでに発売された製品情報を参考にして、各AE/AEと試験治療間の合理的な可能性について包括的な分析を行っています。評価作業において、同社は、評価結果の正確性と全面性を確保するために、基礎疾患、随伴治療、その他のリスク要因を含む他の潜在的な原因を十分に考慮しています。これらの措置は臨床試験における同社のコンプライアンス管理上の堅固な防御線を構成し、被験者の安全を高度に重視し、臨床試験の規範性に対する同社の約束を厳密に守っています。

知的財産権保護

当社は、「革新を保護し、発展を促進する」という理念を受け継ぎ、知的財産権は企業の核心となる競争力の重要な一部であると考えています。したがって、当社は、有効な知的財産権管理を通じて企業の革新的な成果を保護し、技術進歩と市場競争力の向上を促進しています。当社は、各子会社に対し、自社の知的財産権を尊重し保護することに取り組むと同時に、他人の知的財産権を侵害せず、知的財産権の好循環を実現するよう呼びかけています。



本報告書期間中、当社グループは複数件の特許、商標とソフトウェア著作権を出願し、授権し、企業の革新成果と技術秘密を効果的に保護し、会社の市場競争力を向上させました。

Gyreの特許数(全世界): **20**件

Gyreの特許協力条約出願中(中国): **9**件

Gyreの特許出願中数(中国): **9**件



品質マネジメントシステム

当社は、各子会社が高い基準の品質管理要求を達成できるようにするために、グループ全体の品質マネジメントシステムを強化するための一連の取り組みを制定しました。

第一に、各階層の人員配置が十分で職場の要求を満たし、製造場所、施設及び設備はすべて、医薬品の生産や検査に関する厳しい基準を満たしていることを確保するために、組織において、経営層は全力を尽くして規定された品質目標の実現をサポートしています。



次に、文書管理において、当社は包括的な品質システムを構築しており、明確な品質システム管理文書、技術基準及び各重要工程に関する規定を制定するなど、運営上のコンプライアンスを全面的に確保しています。

特に重要なのは、適正製造規範 (GMP) の実行状況及び医薬品の製造品質管理プロセスはどれほどGMP要求に準拠しているかどうかを評価するために、自己検査とモニタリングを実施し、毎年少なくとも2回の全面的な自己検査活動を実施し、それによって品質管理システムの持続的な適応性、完全性、有効性を確保しています。

これらの措置を通じて、当社は潜在的なコンプライアンス問題をタイムリーに見出し、対応し、是正と予防措置を正確に提出し、その実行状況を効果的に追跡し、グループ持株会社としてのコンプライアンス管理レベルを絶えず最適化し、向上させ、製品の品質と安全を保障することができます。



品質保証と制御

当社グループは、グループ全体の品質マネジメントシステムを強化するために、包括的かつきめ細かい品質保証と制御関連の一連の取り組み規程を制定し、実施しています。当社グループの子会社であるCullgenは、『品質保証システム管理規程』、『品質制御システム管理規程』、『品質リスク管理規程』及び『品質管理システム運行管理規程』を含む多くの管理規程を制定し、品質マネジメントシステムが持続的に最適化かつ改善される動的バランスを取れていることを確保しています。

医薬品の設計と研究開発、製造/委託生産、品質制御及び発売後のリスク管理などの重要な工程において、当社は関連規定を厳格に遵守し、既存の工場建物、設備、施設と検査機器が製造と検査の需要を満たしていることを確保しています。

また、会社は品質と製造に関して適格化された従業員を配置しており、それらの従業員は、品質保証及び全製造工程の標準化に関するトレーニングの評価並びに健康診断結果により、そのポストに就くことが許されます。当社は、生産のコンプライアンスと製品品質の安定性を確保するために、年度計画に基づいて検証/確認、製品の安定性考察と品質の回顧を行い、変更と偏差を厳格に処理しています。また、原材料の品質を保障し、製品の出荷とリコールプログラムを規範化し、製品の安全性と信頼性を全面的に確保するために、サプライヤーを定期的に監査しています。Cullgen SOP、病理及び体内実験グループSOP、EQ機器管理、GE総合管理及びIACUC倫理審査を含むいくつかの標準操作手順(SOP)体系を構築することにより、操作の標準化と規範化を実現し、全体の品質管理効率を高め、グループの安定した発展と持続的な革新のために堅固な基礎を築きました。

製品の市場投入前に、BAB社は原材料の検査から完成品の性能試験までの各段階をカバーした包括的な検証プロセスを実施して製品の安全性、有効性、信頼性を保障しています。

医薬品安全性管理

● 医薬品安全性管理の仕組

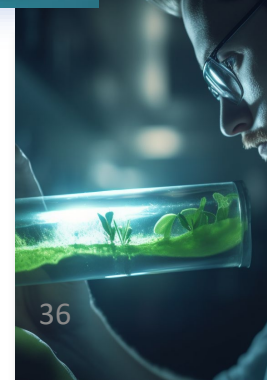
当社は、グループ全体の医薬品安全性管理システムを強化するための包括的な医薬品安全性管理措置を制定しています。当社グループは、医薬品安全委員会及び医薬品安全性管理担当の設立、重大なリスクの研究・判断、緊急医薬品安全性事故の処置及びリスク制御の決定などの重要な任務を担当する専任者及び人員の配置などを含む包括的な医薬品安全管理の仕組を構築しています。また、当社グループは、医薬品安全管理活動の各方面をカバーした詳細な医薬品安全管理規程を制定しており、医薬品の副反応情報を積極的に収集し、安全シグナルの検出とリスク評価を定期的に行うことによって医薬品の安全性を確保しています。

● 医薬品安全管理管理手続き

また、当社は、薬物警戒活動の各方面をカバーした詳細な薬物警戒管理規程を制定しており、医薬品の副作用情報を積極的に収集し、安全信号の検出とリスク評価を定期的に行うことによって医薬品の安全性を確保しています。

● 医薬品安全管理品質指標

また、薬物使用リスクを最大限に減少させ、患者が正確な情報を入手できることを保障し、副作用の発生率を下げ、タイムリーに問題を処理できることを確保するために、厳格な医薬品安全管理品質指標を設定しています。当社は、良好な医薬品安全環境を形成し、人々の医薬品に対する信頼を高めるために毎年医薬品安全管理システムの内部監査を行い、発見された問題を適時に改善しています。これらの取り組みにより、グループ内の医薬品安全管理を強化するとともに、グループ子会社にも強力な支援と指導を提供しました。



カスタマーサービスと保護

本報告書期間中、顧客からの苦情件数 0件

顧客のプライバシー侵害や顧客情報の紛失に関する事件も発生していません

製品表示

当社グループの子会社である上海ジェノミクスは、加工工程での混用、出荷工程での出荷ミスを防止し、製品の設置をより便利にし、発生した問題の追跡を容易にするために『製品標識管理制度』を制定しています。石筆、マーカー、塗装、スタンプなどの方式で加工された文字ははっきりできちんと並べ、欠損があってはなりません。検査と試験状態は未検査、合格、不合格の3種類に分け、置き場を区画して表示板、記録標識を付けます。

原材料表示：倉庫部門が担当し、財務部、総務部は購買供給部と協力して毎月監督検査を行い、帳簿、カード、実物が一致していることを確認します。

完成品表示：完成品倉庫部門が担当し、作業現場が協力して表示の完全性と唯一性を確認します。

仕掛り品表示：作業現場が担当し、品質部が監督検査を行います。

検査状態表示：品質部が担当し、総務部は実行状況の監督検査を行います。

完全な製品標識管理制度を通じて、企業は製品の配布ミス、不適切な設置などの問題による顧客トラブルと苦情を減らし、企業の法的リスクと経済的損失を下げるすることができます。

アフターサービス

当社グループは厳格な製造管理を行うと同時に、アフターサービスも重視しています。当社グループの監督管理の下、製薬事業の子会社であるGyre社は健全なアフターサービスシステムを構築し、医薬品を使用するときに直面した問題をタイムリーに解決し、消費者の信頼をさらに強化しました。同社の厳格な生産管理により、医薬品の高品質と消費者の使用安全を確保し、消費者の苦情を回避しました。

Gyreは『アフターサービス管理制度』に基づいて顧客のフィードバックをタイムリーに追跡し、処理し、サービス需要を満たし、顧客満足度を高め、顧客サービス理念を宣伝しています。アフターサービスを規範化し、企業の信用とブランドイメージを維持し、専門化、統一化の方向に向かって発展させます。苦情情報を直ちに販売部門にフィードバックし、各苦情事件が適切に解決されることを確保し、原因を分析し、類似苦情の再発を防止します。

当社は顧客重視を掲げ、調査を通じて顧客の不満を解決する方法を見つけ続けています。

顧客プライバシー保護

当社グループは、顧客のプライバシーを尊重し、保護することは法律上の要求であるだけでなく、顧客の信頼を確立し、企業の信用を維持する鍵であると考えています。当社の主なる事業は、医薬品の製造・運営であるため、最終顧客とそのプライバシー情報に直接触れる機会は少ないです。当社は、プライバシーセキュリティ管理リスクに対して、合理的かつ合法の方法で顧客や個人から情報を収集することを約束しています。

顧客情報の安全性とプライバシーを確保するために、当社グループの子会社である上海ジェノミクスは『コンピュータ及び情報セキュリティ管理制度』を制定し、包括的な顧客プライバシー保護管理システムを構築しました。これにより、顧客情報の収集、保存、処理と伝送が法律法規と業界標準に合致することを確保し、各部門の責任を明確にし、相互に協力して顧客プライバシー保護業務の規範性と効率を確保しています。

偽造・粗悪品の防止

当社グループは、偽造医薬品を販売することにより、人々の健康と会社の評判に悪影響を及ぼすということをよく認識しています。したがって、企業の社会的責任の核心議題の1つとして偽造医薬品の防止を挙げています。当社は、科学技術の革新と厳格な管理を通じて、偽造医薬品を効果的に予防し、打撃し、消費者の健康と権益を保障することができると確信しています。

当社グループは、先進的な表示技術、データ収集システム、追跡データベースを採用し、サプライチェーン全体における製品のトレーサビリティを確保しています。

各国の関連法律法規を厳格に遵守し、監督管理部門と連動メカニズムを確立し、医薬品偽造行為を共同で取り締まります。

当社グループは、偽造医薬品の潜在的又は既知のリスクを発見した場合に、直ちに電子メール、電話、公式サイトを通じて顧客と協力会社に警報を出し、詳細な対応指導とアドバイスを提供し、各関係者のリスク防止意識を強化し、市場秩序と消費者権益を共同で維持するための迅速対応メカニズムを構築しました。

技術の応用

先進的なバーコード技術と医薬品監督管理コードを用いて、医薬品に対して唯一の表示を付け、迅速な追跡と検証を実現します。

追跡システム

データ収集システムと追跡データベースを構築し、医薬品情報をリアルタイムで記録し、記憶し、サプライチェーン全体のトレーサビリティをサポートします。

法律・法規と規制

『医薬品管理措置』などの法律法規を厳格に遵守し、規制部門の検査と抜き取り検査に協力し、問題を適時に報告し、処理します。

品質管理

健全な品質管理システムを構築し、定期的に製造設備のメンテナンスと校正を行い、製造工程の安定性と信頼性を確保します。

サプライヤー管理

信頼性の高いサプライヤーを選択し、定期的に評価と審査を行い、原材料の品質と供給源の信頼性を確保します。

従業員トレーニング

従業員のトレーニングと教育を強化し、医薬品の品質に対する従業員の認識と重視度を高め、業務レベルと仕事に必要な資質と能力を強化します。

消費者への注意喚起

様々な手段で消費者に医薬品の偽造防止知識と購入ルートの重要性を宣伝し、消費者の偽造防止意識と自己保護能力を高めます。

現在まで、当社は偽造品が市場に流通していることを発見しておらず、当社は厳格な品質管理システム、サプライチェーン追跡システムと市場監視措置を通じて、製品の真実性と安全性を保障し、ブランドの評判と消費者の権益を維持しています。



責任あるマーケティング

医薬品の責任あるマーケティング



倫理的マーケティング

当社グループは、倫理的マーケティングは企業の社会的責任を表すものだけでなく、ブランドの評判と消費者の信頼を維持する鍵であると確信しています。当社は、医療専門家と消費者が真実で信頼できる製品情報を入手できることを確保するために、透明で正確な情報の伝達に力を入れています。

当社グループは、顧客から入手又は自社所有しているさまざまな機密情報を維持し、保護するために、Information Management Regulationsを策定することによって社内情報管理の正確性と厳格性を明確にしています。適切な情報管理システムと方法を提供することにより、重要な機密情報の維持責任を明確にしています。



患者の経済的負担能力

当社グループの子会社であるGyreは、合理的な価格戦略と厳格な製造管理を通じて医薬品の高品質と患者の経済的負担能力を確保し、消費者の使用安全性と満足度を高めることに力を入れています。

厳格な製造管理と合理的な価格戦略を通じて、医薬品の高品質と患者の経済的負担能力を確保し、消費者の使用安全性と満足度を高め、さらに当社の市場地位とブランドの評判を固めました。

当社は、チームメンバーが常に会社の倫理準則に従うことを確保するために、マーケティングチームに対して定期的に倫理関連の訓練とコンプライアンス審査を行い、チームメンバーの倫理意識とコンプライアンス能力を向上させています。本報告書期間中、虚偽のマーケティング宣言による法律違反事件が発生していません。

責任あるマーケティング

消費者満足度

当社は、厳格な製造管理によって医薬品の高品質と消費者の使用安全を確保しており、苦情の発生を回避しています。

市場競争力

当社は、安定した価格戦略と質の高い製品を通じて市場での競争力を保持し、市場の信頼と消費者の満足度を維持しています。

責任あるマーケティング

——生体材料における責任あるマーケティング

マーケティング分野では、当社グループの子会社であるBABは一貫して責任ある姿勢で、一連の有効な措置を取っています。当社は、FDA法規に厳格に準拠し、製品情報の正確性とコンプライアンスを確保するための明確なマーケティングポリシーを策定し、実行しています。また、製品の品質と安全を確保するために、従業員の訓練及びチームの専門能力の向上を重視し、リスク評価と監査を実施し、監査機関と密接に連携をとっています。これらの取り組みは、当社の社会的責任を示すだけでなく、消費者の信頼と市場での認知を得ることもつながっています。

法規と基準の遵守

BABが生産する生体材料製品は品質保証部門(QA)の検査に合格し、米国食品医薬品监督管理局(FDA)の規制要求に合致しなければなりません。当社は、すべてのマーケティング活動とラベリングが関連法規、基準とボランティアガイドラインに準拠していることを確保しています。



定期的な リスク評価と 社内・社外監査

BABは、マーケティング活動とラベリングのコンプライアンスを確保するために、リスク評価を定期的に行い、社内監査と社外監査を行い、継続的改善措置を講じています。



マーケティングと ラベルポリシーの 明確化

コンプライアンスと正確性を維持するために、明確なマーケティングとラベルポリシーを策定し、すべてのマーケティング素材と活動が経営陣の審査を受けていることを確保しています。



従業員の訓練 と意識の向上

定期的に従業員訓練を実施して意識を向上させ、マーケティングとラベル法規に対する認識を向上させ、遵守を促しています。



規制当局とのコ ミュニケーション

FDAなどの規制機関と密接に連携し、新しい規制要件を迅速に把握し、適応することで、製品のコンプライアンスを確保しています。



厳格管理下の 生産プロセス

BABはヒト組織を原材料として皮膚と骨格製品を生産しているので、FDAの厳しい規制を受けています。QA認証から生産工程まで厳格に監視されており、偽造品の発生可能性が極めて低いです。



厳格な製品宣 伝と情報開示

BABの製品はFDAによって厳格に規制されているため、虚偽の広告や誤情報が流れる可能性はありません。すべての製品の宣伝と情報開示は厳格に審査され、正確性とコンプライアンスが確保されています。



サプライヤー評価管理



当社グループは、サプライチェーンの持続可能性と社会的責任を確保するためにサプライヤー評価管理システムの構築に取り組んでいます。環境保護、企業倫理などをカバーしたサプライヤー社会評価管理システムを構築し、厳格なサプライヤー参入基準を制定しています。サプライヤーの選択において、当社は環境マネジメントシステムの認証を取得した会社を優先的に考慮し、現場監査、書面監査と第三者監査などの手段を通じてサプライヤーの環境成績と社会的責任を全面的に評価します。サプライチェーンのコンプライアンスと継続的な改善を確保するためにサプライヤーを継続的に監視し、サプライヤーに対して関連法令の遵守、改善計画の提出を要求します。

この一連の措置を通じて、サプライチェーンの持続可能性と社会的責任を確保し、サプライヤーと一緒に持続可能な発展と社会的責任目標の実現を推進することに成功しました。



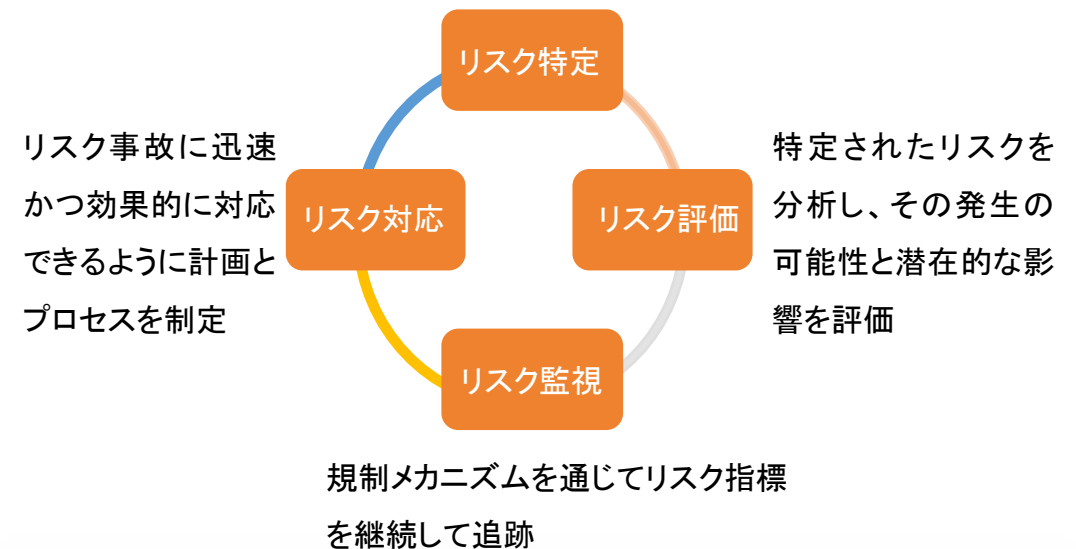
管理実践	具体的な内容	実施方法
サプライヤー 環境評価	環境マネジメントシステム認証を取得したサプライヤーを優先的に考慮	現場監査：環境管理、廃棄物管理、エネルギーの使用と排出の考察
サプライヤー 社会責任評価	製品品質マネジメントシステム、従業員の安全衛生及び権益保護の評価	書面と現場審査：サプライヤーの社会的責任実績を定期的に評価
現場審査	実際の操作と書面資料との一致性の検証	資質の真実性、検査条件、人員と機構などを審査
監査評価	初回、定期的、年度監査の展開	書面監査、現場監査または第三者監査
継続的監視	サプライヤーのコンプライアンス、事故履歴の定期的な審査	継続的な改善を奨励し、サポートとリソースを提供
コンプライアンス 要求	関連する法律法規の遵守、改善計画の提出を要求	改善を監督し、必要に応じて協力の一時停止や契約の終了などの措置
サプライヤー 選択	サプライヤーを厳格に選別し、主要サプライヤーがQA部門の審査を受けていることを確保	サプライヤー資格評価基準(SOP 130)と主制御プログラムのSOPを用いて選別

サプライチェーンリスク管理

当社グループは、サプライチェーンリスク管理を重視し、サプライチェーンの連続性の確保、コストの低減、効率の向上、柔軟性と適応性の強化をサプライチェーンリスク管理の目標とし、目標に合致するサプライチェーンリスクの識別、評価、監督管理及び対応メカニズムを構築に取り組んでいます。

資金を投入して既存の資源を統合することによってサプライチェーン情報の一体化と透明化の実現を目指しています。現在、データ分析技術を活用してより適切な購買と在庫の意思決定を行うためにより健全なサプライチェーン管理システムを開発しています。また、サプライチェーンの持続可能性を重視し、環境保護サプライヤーと協力することで、サプライチェーンのグリーン化を推進し、環境への影響を減らしています。これらの総合的な措置を通じて、サプライチェーンの安全性、安定性と効率を確保し、長期的で持続可能な発展のために強固な基礎を築きました。

サプライチェーンに影響を与える可能性のある社内と社外のリスク要因の特定



リスク対応計画

1. 単一のサプライヤーに依存せず、複数のサプライヤー戦略を採用する。
2. 供給中断状況に対応するための安全在庫を構築する。
3. 先進的な情報技術システムを採用し、サプライチェーンの透明性に対応速度を向上させる。
4. サプライヤーと密接な協力関係を構築し、サプライチェーン全体の相乗効果を高める。

サプライチェーンの安全保障

01 長期的で安定した協力関係

当社グループは、様々な措置を取ってサプライチェーンの効率の高い運営を確保し、既存のサプライヤーと長期的で安定した協力関係を構築し、コミュニケーションを強化し、定期的に相互訪問することによってリアルタイムにサプライヤーの発展状況を把握し、適時に購買戦略を調整しています。材料供給の安定性を保証するために、代替サプライヤーを積極的に準備し、いつでも業界の発展動向に注目しています。



02 サプライチェーン情報の一体化と透明化

当社グループは資金を投入して既存の資源を統合することによってサプライチェーン情報の一体化と透明化を実現していきます。現在、データ分析技術を利用してより適切な購買と在庫の意思決定を行うために、より健全なサプライチェーン管理システムを開発しています。また、サプライチェーンの持続可能性を重視し、環境保護サプライヤーと協力することで、サプライチェーンのグリーン化を推進し、環境への影響を減らしていきます。これらの総合的な取り組みを通じて、サプライチェーンの安全性、安定性と効率を確保し、長期的で持続可能な発展のために強固な基礎を築きます。

社会貢献

- ✓ 企業と社員がともに成長する協力関係
- ✓ 労働安全衛生
- ✓ 研修と人材育成



従業員保護

当社は、従業員の権利と利益を重視し、従業員の権利と利益が十分に尊重され維持されるように、各子会社が経営管理において一連の具体的かつ効果的な取組を実施することを積極的に提唱し、推進しています。



当社の生体材料事業の子会社であるBABは、世界中で包括的で多元化された就業環境を構築し、各地の労働法律法規を厳格に遵守することに力を入れています。社内ではダイバーシティと公平性を基礎とした年間業績評価メカニズムを推進し、各従業員が公平で偏見のない環境で正確な評価と良好なキャリアの発展機会を得ることを確保しています。BABの男性と女性従業員の数にはバランスがとれており、多元化した労働環境を創造し、性別の平等と包容性を促進し、従業員の満足度と会社への信頼感の向上に寄与しています。これらの取組は、BABのダイバーシティを反映した就業原則に対する確固とした態度と深い実践を進めるだけでなく、会社は従業員の保護を重視し、有効な措置を取っていることを示しています。

当社の創薬事業の子会社であるCullgenは、従業員の権利と利益を重視しており、詳細な従業員マニュアルを制定し、労働時間、休暇、報酬と福利厚生を明確にし、従業員の基本権利と利益を全面的に保障しています。同社は従業員の訓練を重視し、従業員のプロフェッショナルとしての素養と技能の向上を奨励しています。また、苦情処理メカニズムを確立し、嫌がらせ、差別などの不適切な行為を公正に処理しています。公平原則に従って報酬を決定し、仕事量と給料のバランスを取っています。また、豊富な福利厚生計画を提供し、従業員の様々なニーズに対応します。これらの取組は、Cullgenのコンプライアンス管理を厳格に運用し、従業員の権利と利益を重視して積極的に維持しています。

従業員は企業の最も貴重な資産であると考えています。したがって、同社は、公平で透明で包括的な職場環境を構築し、優秀な人材を誘致し、引き留め、継続成長と発展の機会を提供することに力を入れています。当社は、各従業員の個人的価値とキャリアの発展を尊重し、すべての従業員が会社で自分の価値を実現できるように、ダイバーシティとインクルーシブな職場環境の構築に力を入れています。同社は、採用、入社、離職管理などの各段階をカバーした健全な従業員雇用管理システムを構築しています。公開採用、内部優先、平等競争、適材適所の原則に従って採用過程の公平性と透明性を確保しています。また、当社は、会社と従業員の共通の利益を保障するために、従業員の背景調査と情報の真実性も重視しています。

従業員報酬管理

報酬政策の目的は、組織の健全な運営を確保し、従業員の満足度を高めることです。具体的には、以下の3つの目標があります。

- (1) 公平性・透明性: 従業員が公平な評価を受け、同じ基準での報酬決定を確保します。
- (2) 法規制の遵守: 労働法規と労働契約を遵守します。
- (3) 人材誘致と引き留め: 適切な報酬を提供することによって従業員を激励し、長期雇用を促進します。そのために、当社は『報酬条例』を制定し、報酬構造、報酬支払いをカバーした管理方式を確立します。

報酬制度

当社は、各従業員の基本賃金、賞与及び各種手当がその職務の価値、担当する職責及び実際の勤務成績を全面的、公正に反映できるように合理的な報酬構造を設計しています。この構造は基本賃金をカバーしただけでなく、従業員の個人的な能力と貢献を十分に考慮し、残業手当、追加残業手当、減給等の制度を設定し、従業員が潜在的能力を発揮し、仕事の効率を高めることを奨励しています。また、市場レベルと会社の発展戦略との一貫性を確保するために、定期的に報酬レベルを見直し、調整しています。

従業員への配慮と福利厚生

当社は、従業員の福利厚生を企業が負うべき社会的責任の一環と見なし、各子会社において従業員の福利厚生を向上させるための具体的な措置を積極的に提唱しています。

当社の製薬事業の子会社であるGyreは、「人間本位」の管理理念を守り、従業員に対して細かく配慮し、福利厚生を提供し、健康で、安全、かつ調和のとれた職場環境を創造することに力を入れています。同社は、従業員が全面的に公平な福利厚生を享受できるように、法定福利、自己福利及び従業員援助をカバーした健全な従業員の福利厚生管理システムを構築し、『従業員休暇管理制度』、『従業員保険管理制度』など、一連の管理制度を制定しています。これらの措置は、従業員の心身の健康とキャリアの発展に堅固な保障を提供すると同時に、Gyreの従業員への配慮と福利厚生を重視し、確実に実行していることを示しています。

効果的な従業員への配慮と福利厚生管理を通じて、従業員の幸福感と帰属意識を高め、従業員の団結力を強化し、仕事への情熱をさらに引き出しました。多様化された福利厚生制度と人間味のある管理システムにより、同社は多くの優秀な人材の誘致に成功し、従業員の満足度と忠誠心を高めることができました。

労働安全衛生管理

当社グループは、労働安全衛生管理を企業の社会的責任のコア要素の1つと見なし、各子会社が全面的で効果的な労働安全衛生管理措置をとることを積極的に提唱し、推進しています。各従業員が健康と安全であることを確保するために、当社グループは毎年健康診断を推進しています。

0

2024年労働災害による欠勤日数0日

0

2024年仕事関連の事故による死亡人数0人

当社の創業事業の子会社であるBABは、従業員の労働安全衛生を常に第一に考えています。同社は健全なH-SOP 64-01労働環境に関する基準を制定し、健康、清潔度と個人防護具(PPE)関連の要求レベルを規定しました。また、各従業員が安全操作规程を熟知し、遵守していることを確保するために、同社は定期的な安全訓練メカニズムを構築しています。

また、発生する可能性のある労働安全衛生上の危害を予防し、従業員のために安全で健康な労働環境を作るために、監督者を指定し、労働環境と運用プロセスに対して継続的な検査と改善を行っています。

BABの従業員管理において優れた成績を収めたことが、2023年の労働関連の傷害と疾病に関する総括報告(OSHA's Form 300 A)に掲載されました。

2023年、同社の総死亡者数は0人、負傷による欠勤、転勤または労働制限を受けるケース、および様々な負傷と疾病ケースはそれぞれ0件であり、欠勤日数と転勤または労働制限を受ける総日数も0日です。同社は、従業員管理において優れた成績を収め、有効な安全措置と管理手段を通じて、従業員のために安全で健康な労働環境を作りました。

当社の創業事業の子会社であるCullgenは、人間本位の原則を守り、労働安全を重視しています。『労働安全衛生と労働衛生組織システム管理規程』などの文書を制定し、労働安全衛生管理委員会を設置することにより、労働安全衛生管理の面でリーダーシップを発揮しています。同社は、健康におけるモニタリング、危害防止、従業員健康診断など、労働安全衛生関連の規程を厳格に実行し、定期的に広報と訓練を行い、従業員の安全意識を強化しています。また、同社は定期的に労働安全衛生管理システムを評価、評価結果と従業員のフィードバックに基づいて調整、最適化を行い、管理措置の継続的な有効性を確保しています。これらの措置により従業員の健康レベルと作業効率を高め、企業の持続可能な健康発展と社会的責任の履行を保障しています。

安全な製造

「安全な製造管理の重視」を社会的責任の重要な一部と位置付け。
製造管理の効果的な安全性対策をシームレスに実行、提唱、推進。

製薬工場の安全な製造管理

当社の製薬事業の子会社であるGyreは、『安全製造管理規程』、『安全製造管理ネットワーク組織管理規程』及び『製造における安全と事故の発生リスク排除管理規程』などの管理制度を制定し、工場レベル安全管理委員会、部門レベル安全製造作業グループ及び労働現場レベルの安全製造グループを含む3層での安全管理ネットワークを構築しました。

上級管理職と各部門の責任者が共同で工場での安全管理委員会を設置し、健全な安全製造制度と責任体制の確立を担当し、工場の安全性を全面的に確保しています。

安全環境保護部は安全製造管理の機能部門として、各安全措施と教育訓練の組織と実施を担当し、政策の効果的な実行を確保しています。

臨床試験室の安全生産管理

- 当社の創薬事業の子会社であるCullgenは、上級管理職から一般社員までの各従業員がその安全製造責任を知っており、履行していることを確保するために、『全員安全製造責任制度』を推進しています。安全管理を強化するために、同社は『消防訓練方案及びプロセス』、『安全上のリスク排除管理規定』、『安全事故総合応急予案』を含む一連の規則制度を制定し、工場レベルの安全管理委員会、部門レベルの安全製造作業グループ及び現場レベルの安全生産グループをカバーした3層の安全管理ネットワークを構築しました。工場レベルの安全管理委員会は上級管理職と各部門の責任者から構成され、安全製造制度の制定と整備を担当し、構内の安全を確保しています。
- 安全環境保護部は中核となる機能部門として、新入社員、中途入社社員及び新技術設備使用者の安全教育訓練、及び緊急対応訓練の定期実行、会社全員の安全操作スキルと緊急対応能力の向上を含む各安全措施の実行に責任を負います。また、同社は消防安全、車両交通安全及び特殊設備と危険品の安全管理を厳格に実行し、定期的なリスク排除と事故予防メカニズムを通じて製造と管理活動の安全な進行を確保しています。
- これらの専門的かつ系統的なコンプライアンス管理措置を通じて、同社は従業員の安全意識と操作レベルを著しく向上させ、安全事故の発生率を効果的に低下させると同時に、企業の安定した発展と社会的責任の履行に強固な基礎を築きました。

安全教育と研修

広報・教育・研修は従業員の能力向上と企業競争力を強化する重要な手段。豊富で多様な教育訓練活動により健康と安全意識を増進。

当社グループの創業事業の子会社であるCullgenは、労働安全衛生の広報教育研修において多層的で多様な実践措置を講じています。

三層安全教育訓練

同社は、各従業員が全面的な安全訓練を受けることができるように、会社レベル、部門又は製造現場レベル、班レベル、又は職場レベルを含む「3層」安全教育訓練システムで実行しています。

定期訓練と評価

主要責任者、安全生産管理者、従業員には毎年8時間以上の安全生産教育と実践的訓練を受けるよう義務付けています。中途入社者、6ヶ月以上の離職者、または新プロセス、新技術、新設備、新材料を採用している従業員は、8時間以上の訓練を受けなければなりません。



Cullgenの本報告
期間中に実施した
消防安全訓練

特殊作業員の訓練

特殊作業に従事する者は政府関係部門の訓練に参加し、『特殊作業員操作証明書』を取得し、証明書を持って職務に就かなければなりません。

労働安全衛生関連の宣伝

掲示板、通信グループ、会議、訓練、スローガン掲示などの形式で労働安全衛生関連の広報を行い、各部門、生産現場、職場も始業会議と終業会議、労働安全衛生知識刊行物の閲読、職場労働危害の説明などの方式で広報を行っています。

定期訓練と法規遵守

同社は定期的に訓練効果を評価し、評価結果に基づいて継続的に改善し、絶えず変化する労働環境と従業員のニーズに応えるために訓練内容と形式を最適化しています。

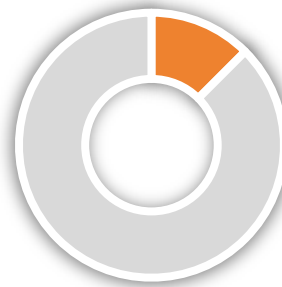
ダイバーシティと機会均等

ダイバーシティと機会均等は、会社の持続可能な発展と革新の重要な駆動力であり、ダイバーシティと機会均等の促進を重視し、各子会社がダイバーシティ戦略を深く実施するよう提唱しています。異なる背景、性別、年齢、能力の人材に対して平等なキャリア発展機会を与え、包摂的で非差別的労働環境を構築しています。

ジェンダー平等

当社グループは会社の各職務でジェンダー平等を実現しています。それ以外に、報酬における公平の理念に記載しているように、報酬の公平性と透明性を確保することにも力を入れています。2024年現在、当社グループの12.5%の取締役は女性、50%の執行役は女性、50%の部長職は女性、55.6%の会社員は女性です。この割合は当社グループの所在国である日本における女性労働者参加率53.6%を上回っています。

ジーエヌアイグループ各役職の女性の割合



取締役会
12.5%
女性



上級管理職
50%
女性



中間管理職
50%
女性



全従業員
66.6%
女性

研修と教育

全従業員のために良好な成長機会を提供し、技術が優れ、仕事に情熱を持つ従業員のチームを作っています。また、従業員に研修と昇進のチャンスを提供し、定期的に人事評価をし、仕事に関連するフィードバックを与え、内部異動を推進し、様々な従業員支援グループに参加する機会を提供します。

種類	2024年
従業員訓練投資費用(元)	128904
従業員訓練参加人数	17
訓練総時間数(時間)	56.5
男性従業員の訓練総時間数(時間)	19
女性従業員の訓練総時間数(時間)	37
一般従業員の訓練総時間数(時間)	45.5
中間管理職の訓練総時間数(時間)	5.5
上級管理職の訓練総時間数(時間)	5.5

研修と教育

当社グループは、会社のビジネス戦略と従業員個人の発展の要望を満たすために、全面的かつ多角的な人材育成システムの構築に力を入れ、各子会社が系統的で持続的な育成と教育措置を深く実施するよう提唱し、全力を尽くして支持しています。

当社の創薬事業の子会社であるCullgenは、包括的かつ多元化された人材育成システムを構築しており、『訓練管理制度』と『職級体系管理マニュアル』などの管理システムに基づき、オンラインとオフラインでの教育や理論と実践を結合した多次元訓練プロジェクトを設計しました。これらのプロジェクトは、基礎スキル、専門能力とリーダーシップなどの多角的な訓練課程を含み、一般社員層、中間管理職層、および上級管理職の発展のニーズを満たすことができます。的を絞った訓練措置を通じて、Cullgenは従業員の総合的な能力を高めるだけでなく、会社の長期的な発展に堅固な人材資源を提供することができます。同社は訓練と教育を重視し、投資しています。

時間	研修テーマ	訓練人数	男女割合
2024.1.25	抗体と薬物の複合体: 現在と未来	83	1:1
2024.3.28	生体防御と炎症における免疫 代謝産物イタコン酸の役割	94	1:1
2024.5.30	過去と現在における 蛋白質分解	96	1:1
2024.7.25	ADCとは	96	1:1
2024.10.31	革新薬の非臨床試験の概要	95	1:1

ESG データ表

レベル1指標	レベル2指標	レベル3指標	指標出所	単位	2022	2023	2024
01 総合力バナンス	コーポレートガバナンス	資産総額		百万米ドル	81,666	153,702	180,322
		営業収入	GRI 201-1	百万米ドル	115	113	50
		利益総額		百万米ドル	-2,849	-45	23,849
		純利益		百万米ドル	-6,246	-5,282	23,849
		取締役会人数	GRI 2-7,405-1	人	7	8	8
		独立取締役	GRI 2-9	人	5	4	4
		女性取締役	GRI 2-9	人	1	2	1
02 環境保護	資源管理	総合エネルギー消費量	GRI 302-1	MWh	503,100	512,100	382,210
		ガソリン	GRI 305-1	L	7,000	7,600	8,000
		総採水量	GRI 303-3	立方メートル(m³)	16,641.09	18,387.15	22,898.87
		市営給水	GRI 303-3	立方メートル(m³)	2,286.09	2,907.15	3,465.87
		採水 - 表層水	GRI 303-3	立方メートル(m³)	300	400	400
		総排水量	GRI 303-4	百万立方メートル (百万m³)	1,828.872	2,325.72	2,772.696
		淡水排出量	GRI 303-4	百万立方メートル (百万m³)	503,100	512,100	382,210

※ 01 包括的ガバナンスおよび03 従業員管理に関するデータはジーエヌアイ単体ベース
02環境保護に関するデータは、ジーエヌアイグループの主要子会社(Gyre、Cullgen、BAB)を合算したもの

レベル1指標	レベル2指標	レベル3指標	指標出所	単位	2022	2023	2024
03環境保護	廃棄物管理	汚水排出総量	GRI 303-4	トン/年	7165	10726	12705
		(汚水排出)化学的酸素要求量排出量		トン/年	0.29	0.32	0.44
		(汚水排出)アンモニア酸素排出量		トン/年	0.0211	0.0044	0.0047
		(廃ガス排出)窒素酸化物排出量	GRI 305-7	トン/年	0.01	0.00	0.02
		(廃ガス排出)二酸化硫黄排出量	GRI 305-7	トン/年	0.00	0.00	0.00
		(廃ガス排出)粒子状物質排出量	GRI 305-7	トン/年	0.06	0.00	0.11
		(廃ガス排出)VOCs排出基準達成率	GRI 305-7	%	100.00	100.00	100.00
		総廃棄物量	GRI 306-3	トン/年	337.4727	87.1762	479.207
		総廃棄物強度	GRI 306-3	kg/万元営業収入	2	2	2
		危険廃棄物量	GRI 306-3	トン/年	34.11	45.87	40.779
		処分する廃棄物	GRI 306-5	トン/年	301.36	39.31	436.43
	社会的責任	公益寄付総額		USD	0	0	0
		ボランティア活動に参加した人数		人	0	0	0
		従業員ボランティア活動時間		時間	0	0	0
		従業員ボランティア活動参加人数		人	0	0	0
		従業員ボランティア活動回数		回	0	0	0

レベル1指標	レベル2指標	レベル3指標	指標出所	単位	2022	2023	2024
03従業員開発	雇用 (株式会社ジーエヌアイ)	合計従業員数	GRI 2-7	人	9	10	15
		合計男性従業員数		人	4	4	5
		合計女性従業員数		人	5	6	10
		フルタイム従業員数	GRI 2-7	人	9	10	15
		米国で働く従業員数	GRI 2-7, 405-1	人	0	0	0
		中国国内で働く従業員数	GRI 405-1	人	0	0	0
		他の国や地域で働く従業員数	GRI 405-1	人	0	0	0
		退職従業員数	GRI 401-1	人	1	1	5
		従業員離職率	GRI 401-1	%	11.1%	10%	33.3%
		男性従業員離職率	GRI 401-1	%	20%	0%	40%
		女性従業員離職率	GRI 401-1	%	0%	16.7%	20%
		中級管理職従業員数	GRI 2-7,405-1	人	6	3	2
		中級管理職女性従業員数	GRI 2-7,405-1	人	3	2	1
		上級管理職従業員数	GRI 2-7,405-1	人	0	2	2
		上級管理職女性従業員数	GRI 2-7,405-1	人	0	0	1

レベル1指標	レベル2指標	レベル3指標	指標出所	単位	2022	2023	2024
03 従業員開発	報酬と福利厚生	健康診断受診率		%	100%	100%	100%
		労災により損失した勤務日数	GRI 403-9	日	0	0	0
		労災により毎年死亡した人数	GRI 403-9	人	0	0	0
		1人当たりの有給年休日数		日	-	-	-
	開発と訓練	従業員訓練投資額		USD	-	-	6,000
		従業員訓練参加人数	GRI 404-1	人数	-	-	17
		従業員訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	56.5
		男性従業員訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	19.5
		女性従業員訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	37.0
		一般従業員訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	45.5
		中級管理職訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	5.5
		上級管理職訓練総時間数	GRI 404-1	時間	-	-	5.5

SASB指標

基準	会計指標	2024対応
HC-BP-210a.1	Discussion, by region, of management process for ensuring quality and patient safety during clinical trials.	ESGレポート-臨床試験管理
	地域別に臨床試験期間中の品質と患者の安全を確保するための管理プロセスを検討します。	
HC-BP-210a.2	Number of inspections related to clinical trial management and pharmacovigilance that resulted in: (1) entity voluntary remediation or (2) regulatory or administrative actions taken against the entity.	ESGレポート-臨床試験管理
	臨床試験管理と薬物警戒に関連する検査数。これらの検査により、(1)エンティティが自発的に改善または(2)エンティティに対して規制または行政措置を取る。	

基準	会計指標	2024対応
HC-BP-210a.3	<p>Total amount of monetary losses as a result of legal proceedings associated with clinical trials in developing countries.</p> <p>臨床試験に関する法律手続きによる発展途上国における総貨幣損失量。</p>	ESGレポート-臨床試験管理
HC-BP-240b.1	<p>Number of settlements of Abbreviated New Drug Application (ANDA) litigation that involved payments and/or provisions to delay bringing an authorized generic product to market for a defined time period</p>	ESGレポート-カスタマーサービスと保護
HC-BP-240b.2	<p>Percentage change in: (1) weighted average list price and (2) weighted average net price across product portfolio compared to previous reporting period</p> <p>前回の報告期間と比較して、(1)加重平均定価と(2)製品ポートフォリオ全体における加重平均正味価格のパーセンテージ変化</p>	ESGレポート-カスタマーサービスと保護
HC-BP-240b.3	<p>Percentage change in: (1) list price and (2) net price of product with largest increase compared to previous reporting period</p> <p>前回の報告期間と比較して、(1)製品の定価と(2)製品の正味価格における最大上昇率の変化</p>	ESGレポート-カスタマーサービスと保護

基準	会計指標	2024対応
HC-BP-260a.1	Description of methods and technologies used to maintain traceability of products throughout the supply chain and prevent counterfeiting	ESGレポート-反偽造医薬品
	サプライチェーン全体にわたって製品のトレーサビリティを維持し、偽造品を防止するための方法と技術について説明する	
HC-BP-270a.2	Description of code of ethics governing promotion of off-label use of products	ESGレポート-カスタマーサービスと保護
	製品ラベル外の使用普及を管理する道徳的ガイドラインについて説明する	
HC-BP-330a.1	Discussion of talent recruitment and retention efforts for scientists and research and development staff	ESGレポート-従業員権利と利益の保障
	科学者と研究開発者の人材募集と引き留めることについて検討する	
HC-BP-330a.2	(1) Voluntary and (2) involuntary turnover rate for: (a) executives/senior managers, (b) mid-level managers, (c) professionals, and (d) all others	ESGレポート-従業員権利と利益の保障
	(1)自主退職及び(2)会社都合退職率、(a)上級管理職/上級マネージャー、(2)中間層マネージャー、(c)専門家、および(d)その他すべての人員を含む	

GRI 指標

GRI 基準	開示事項	記載箇所
GRI 2: 一般開示 2022	2-1 組織概要	ESGレポート-会社概要
	2-2 組織のサステナビリティレポートの対象範囲となる事業体	ESGレポート-会社概要
	2-3 報告期間・頻度・連絡先	ESGレポート-ESGガバナンス
	2-6 活動、バリューチェーンおよびその他の取引関係	ESGレポート-利害関係者
	2-9 ガバナンスの構造と構成	ESGレポート-取締役会の役割及び構成
	2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出	ESGレポート-取締役会の役割及び構成
	2-11 最高ガバナンス機関の主席	ESGレポート-取締役会の役割及び構成

GRI 基準	開示事項	開示箇所
GRI 2:一般開示 2022	2-12 影響管理の監督における最高ガバナンス機関の役割	ESGレポート-取締役会の役割と構成
	2-13 インパクトマネジメント管理責任に影響する委任	ESGレポート-取締役会の役割と構成
	2-14 持続可能性報告における最高ガバナンス機関の役割	ESGレポート-ESGガバナンス
	2-15 利益相反	ESGレポート-ESGガバナンス
	2-16 重要な問題に関するコミュニケーション	ESGレポート-企業倫理
	2-17 最高ガバナンス機関の集合的知見知識	ESGレポート-利害関係者のコミュニケーション
	2-18 最高ガバナンス機関を評価するパフォーマンス	ESGレポート-取締役会の宣言
	2-19 報酬方針	ESGレポート-業績評価と報酬政策
	2-20 報酬決定プロセス	ESGレポート-業績評価と報酬政策
	2-21 年間報酬総額の比率	ESGレポート-業績評価と報酬政策
	2-22 持続可能な開発戦略に関する声明	ESGレポート-ESGデータ表
	2-23 方針声明政策への取り組み	ESGレポート-取締役会の宣言
	2-26 相談・懸念の仕組み	ESGレポート-法律遵守とコンプライアンス管理
	2-27 法律の遵守	ESGレポート-利害関係者のコミュニケーション
	2-29 ステークホルダー・エンゲージメントへの対応	ESGレポート-法律遵守とコンプライアンス管理
	2-30 団体交渉協定	ESGレポート-利害関係者のコミュニケーション

GRI基準	開示事項	開示箇所
GRI 3: 材料テーマ2022	3-1 マテリアルテーマの決定プロセス	ESGレポート-議題の重要性評価
	3-2 マテリアルテーマ一覧	ESGレポート-議題の重要性評価
	3-3 マテリアルなテーマの管理	ESGレポート-議題の重要性評価
GRI 201: 経済行為2016	201-1 生成および分配される直接的な経済価値	ESGレポート-ESG データ表
	201-2 気候変動に伴う財政問題およびその他のリスクと機会	
GRI 205: 汚職防止2016	205-1 汚職に関連するリスク評価事業	ESGレポート-ESG データ表
	205-2 汚職防止の方針と手順に関するコミュニケーションとトレーニング	ESGレポート-ESG データ表
GRI 207: 税務2019	207-1 税務対応課税方法	ESGレポート-企業倫理
	207-2 税務ガバナンス、管理およびリスク管理	ESGレポート-税務管理
	207-3 利害関係者の関与と税関連問題の管理	ESGレポート-税務管理
GRI 302: エネルギー2016	302-1 組織内のエネルギー消費	ESGレポート-税務管理
	302-3 エネルギー原単位強度	ESGレポート-ESG データ表
	302-4 エネルギー消費量の削減	ESGレポート-ESG データ表
GRI 303: 水と廃水 2018	303-1 共有資源としての水との相互作用	ESGレポート-水資源管理

GRI基準	開示事項	開示箇所
GRI 303: 水と廃水 2018	303-2 廃水関連の影響の管理	ESGレポート-水資源管理
	303-3 給水	ESGレポート-ESG データ表
	303-4 排水	ESGレポート-ESG データ表
	303-5 水消費量	ESGレポート-ESG データ表
GRI 305: 排出2016	305-1 直接(スコープ 1)温室効果ガス排出量	ESGレポート-ESG データ表
	305-2 エネルギー間接(スコープ 2)温室効果ガス排出量	ESGレポート-ESG データ表
	305-4 温室ガス排出原単位	ESGレポート-ESG データ表
	305-5 温室ガス排出削減	ESGレポート-ESG データ表
	305-7 窒素酸化物(NO _x)、硫黄酸化物(SO _x) およびその他の重要な大気排出物	ESGレポート-ESG データ表
GRI 306: 廃棄物2020	306-1 廃棄物の発生と廃棄物に関連する 重大な影響	ESGレポート-廃棄物管理
	306-2 廃棄物関連の重大な影響の管理	ESGレポート-廃棄物管理
	306-3 廃棄物の発生	ESGレポート-ESG データ表
	306-4 廃棄物から転用された廃棄物	ESGレポート-ESG データ表
	306-5 廃棄物の処理	ESGレポート-ESG データ表

GRI基準	開示事項	開示箇所
GRI 308: 環境基準によるサプライヤー評価2016	308-1 環境基準を使用して新規提供会社を評価	ESGレポート-サプライヤー評価管理
	308-2 サプライチェーンにおける環境への悪影響と講じられた措置	ESGレポート-サプライヤー評価管理
GRI 401: 雇用2016	401-1 従業員の新規採用および退職	ESGレポート-ESG データ表
	401-3 育児休暇	ESGレポート-ESG データ表
GRI 403: 職業健康及び安全2018	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	ESGレポート-労働安全衛生
	403-3労働安全衛生職業健康サービス	ESGレポート-労働安全衛生
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議およびコミュニケーション	ESGレポート-労働安全衛生
	403-5 労働者の労働安全衛生トレーニング	ESGレポート-労働安全衛生、ESG データ表
	403-6 労働者の健康増進	ESGレポート-労働安全衛生
	403-7 ビジネス関係に直接関係する労働安全衛生への影響の予防と軽減	ESGレポート-労働安全衛生
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	ESGレポート-労働安全衛生
	403-9 労働における怪我	ESGレポート-労働安全衛生、ESG データ表
	403-10仕事に関連する病気	ESGレポート-労働安全衛生、ESG データ表

GRI基準	開示事項	開示箇所
GRI 404:	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間	ESGレポート-ESG データ表
訓練と教育2016	404-2 従業員のスキルアップおよび移行支援プログラム	ESGレポート- 訓練と教育
GRI 405: 多様性及び平等機会2016	405-1 ガバナンス機関と従業員の多様性	ESGレポート-ESG データ表
GRI 414: サプライヤーの社会的評価 2016	414-2 サプライチェーンにおけるマイナスの社会的影響と講じられた措置	ESGレポート-サプライヤー評価管理
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016	416-2 製品およびサービスにおける安全衛生インパクトに関する違反事例	FDAウェブサイト 米国食品医薬品局公式ウェブサイト
GRI 417: マーケティングとラベリング2016	417-1 製品およびサービスの情報とラベリング要件	ESGレポート-責任あるマーケティング
	417-2 製品およびサービスにおける安全衛生インパクトに関する違反事例	ESGレポート-責任あるマーケティング
	417-3 マーケティングコミュニケーションに関連した違反事例	ESGレポート-責任あるマーケティング
GRI 418:顧客のプライバシー2016	418-1 顧客プライバシーの侵害および顧客データの損失に関する具体化した不服申立	ESGレポート-カスタマーサービスと保護